

室蘭市立地適正化計画 防災指針骨子たたき台

目次

1. 立地適正化計画 防災指針の役割
2. ハザード情報の整理
3. 災害による危険性の高い地域の分析
4. 市全体および地域別の課題
5. 防災まちづくりの基本的な方針（案）
6. 市全体および地域別の防災方針と取組（案）
7. 防災まちづくりの目標値（案）

目次

1. 立地適正化計画 防災指針の役割

2. ハザード情報の整理

3. 災害による危険性の高い地域の分析

4. 市全体および地域別の課題

5. 防災まちづくりの基本的な方針（案）

6. 市全体および地域別の防災方針と取組（案）

7. 防災まちづくりの目標値（案）

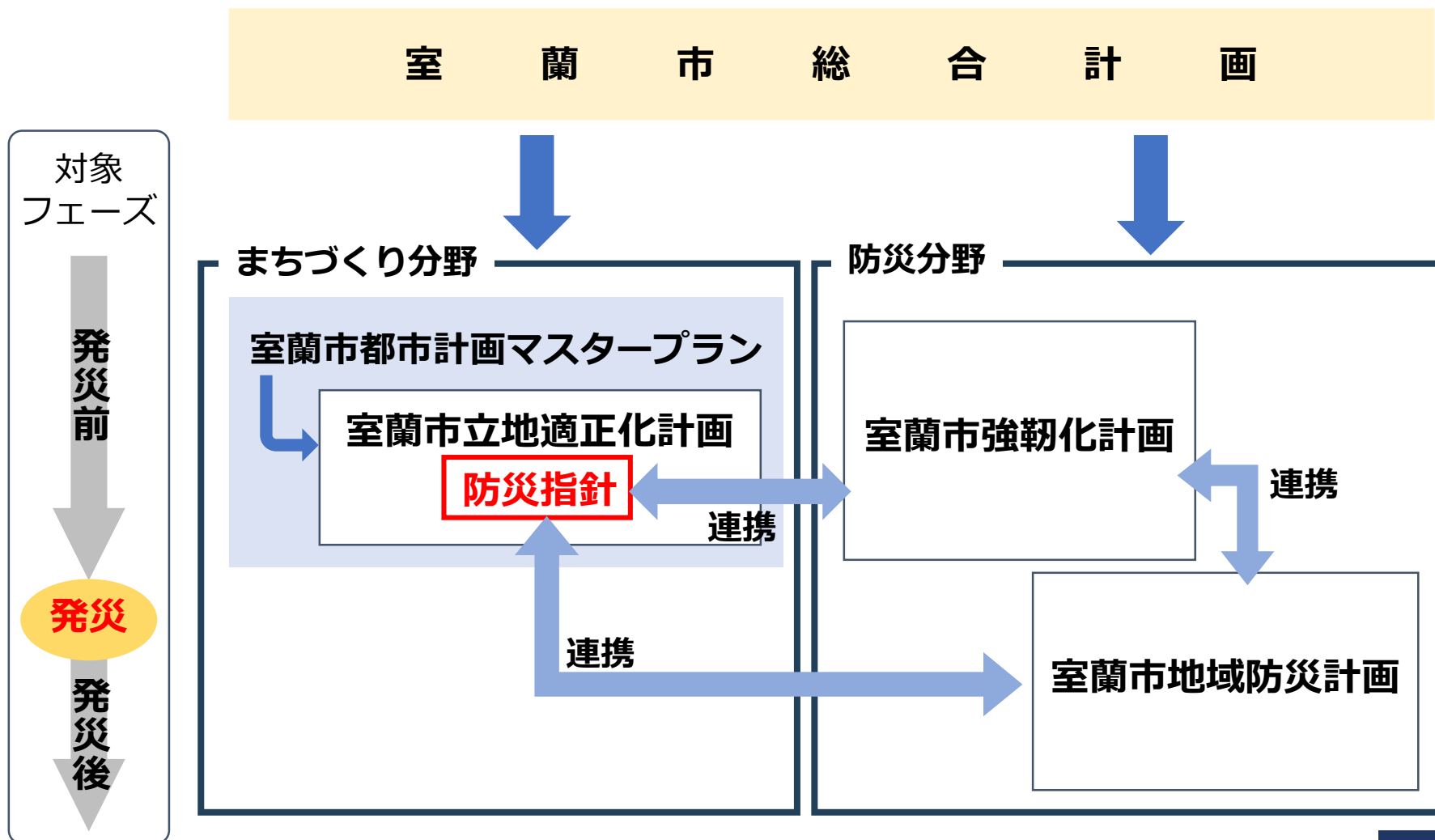
1. 立地適正化計画 防災指針の役割

- 立地適正化計画の中で示す「防災指針」は、既存計画と以下に示す違いがある。

計画	目的	特徴
立地適正化計画 (防災指針)	近年、全国で水災害が頻発・激甚化していることを踏まえ、居住や都市機能の誘導を図る上で必要となる都市の防災に関する機能の確保を図る。	居住誘導区域(都市機能誘導区域含む)における災害リスクをできる限り回避あるいは低減させる。
室蘭市強靱化計画	「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法」に基づき、大規模自然災害等のリスクを減らすための事前防災・減災と迅速な復旧・復興に資する取組みを総合的・計画的に実施し、災害に強いまちづくりを築く。	本市で想定されるあらゆる自然災害を見据え、最悪な事態に陥る事が避けられるように、事前に具体的な施策(取組み)を定めたもの。
室蘭市地域防災計画	地震、風水害などから市民の生命、身体及び財産を保護し、災害の予防、被害の軽減、応急対策及び復旧に関する一連の防災活動を防災関係機関や市民が自ら適切に実施するための事項を定める。	地震や洪水などのリスクを特定し、主に災害が発生した後、そのリスクに対しどのように対応するのかをとりまとめたもの。

1. 立地適正化計画 防災指針の役割

- 立地適正化計画の中で示す「防災指針」の位置づけは、以下のとおりである。



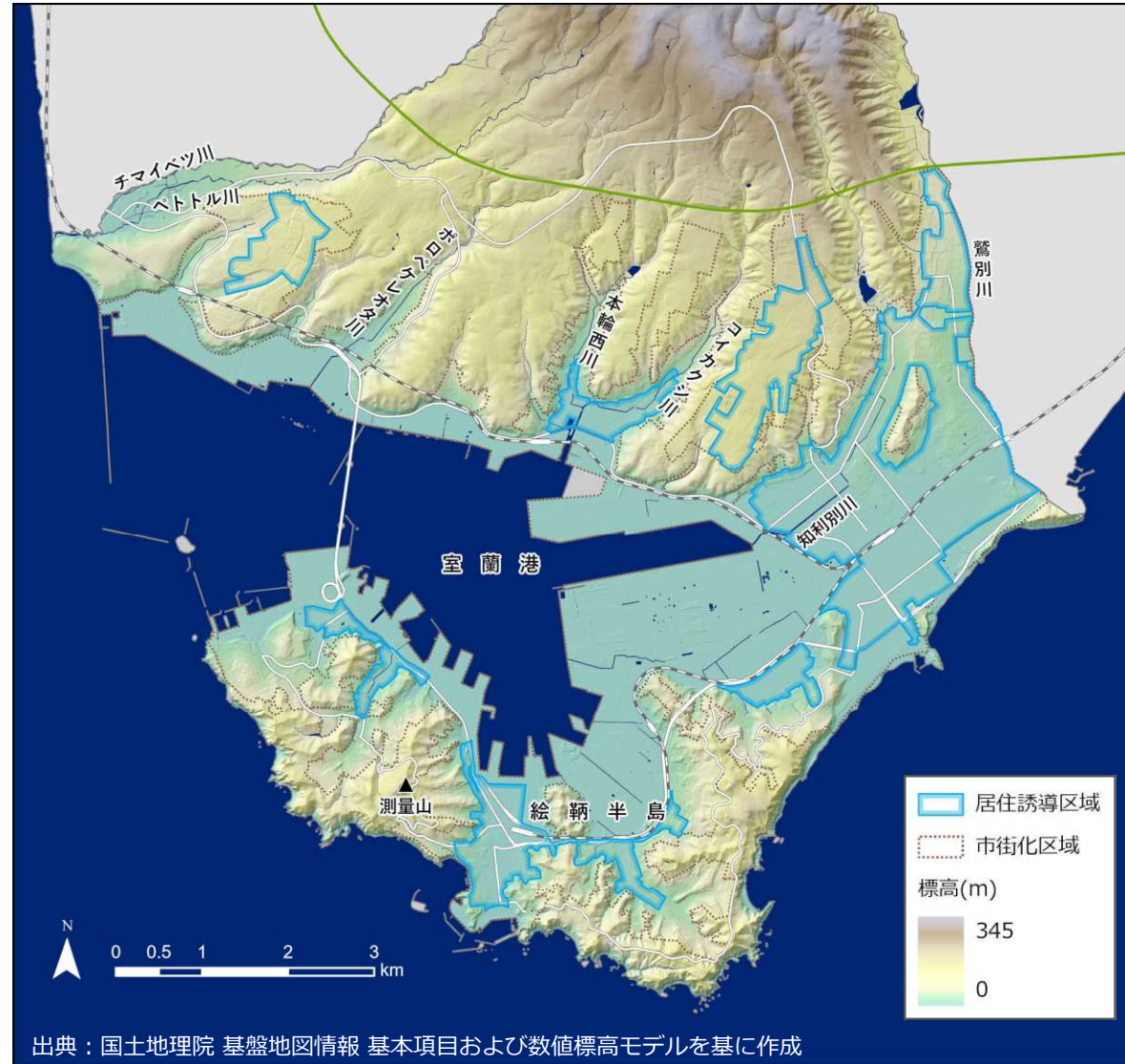
目次

1. 立地適正化計画 防災指針の役割
- 2. ハザード情報の整理**
3. 災害による危険性の高い地域の分析
4. 市全体および地域別の課題
5. 防災まちづくりの基本的な方針（案）
6. 市全体および地域別の防災方針と取組（案）
7. 防災まちづくりの目標値（案）

2. ハザード情報の整理

(1) 地勢

- 室蘭港を囲むように平地が広がり、建物や工場施設が密集している。
- 東室蘭駅周辺一体は平地となっており、標高は2~3m程度と低い。
- 蘭西、蘭北地域には沢地形が広がり、沢沿いに住宅が張り付いている。
- 居住誘導区域のある八丁平や白鳥台は平地よりも標高の高い場所に位置している。



出典：国土地理院 基盤地図情報 基本項目および数値標高モデルを基に作成

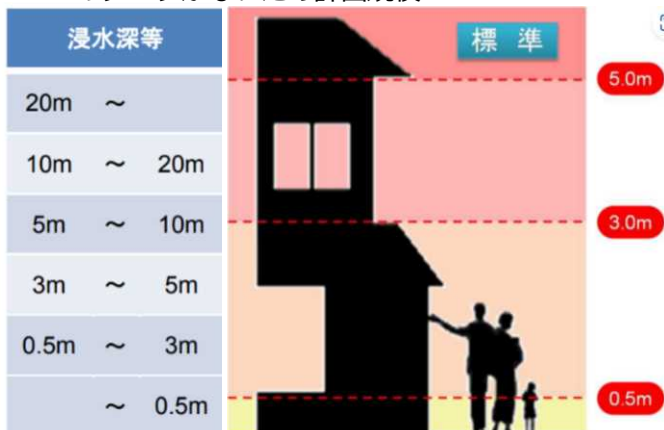
2. ハザード情報の整理

(2) 洪水浸水想定区域 想定最大規模※

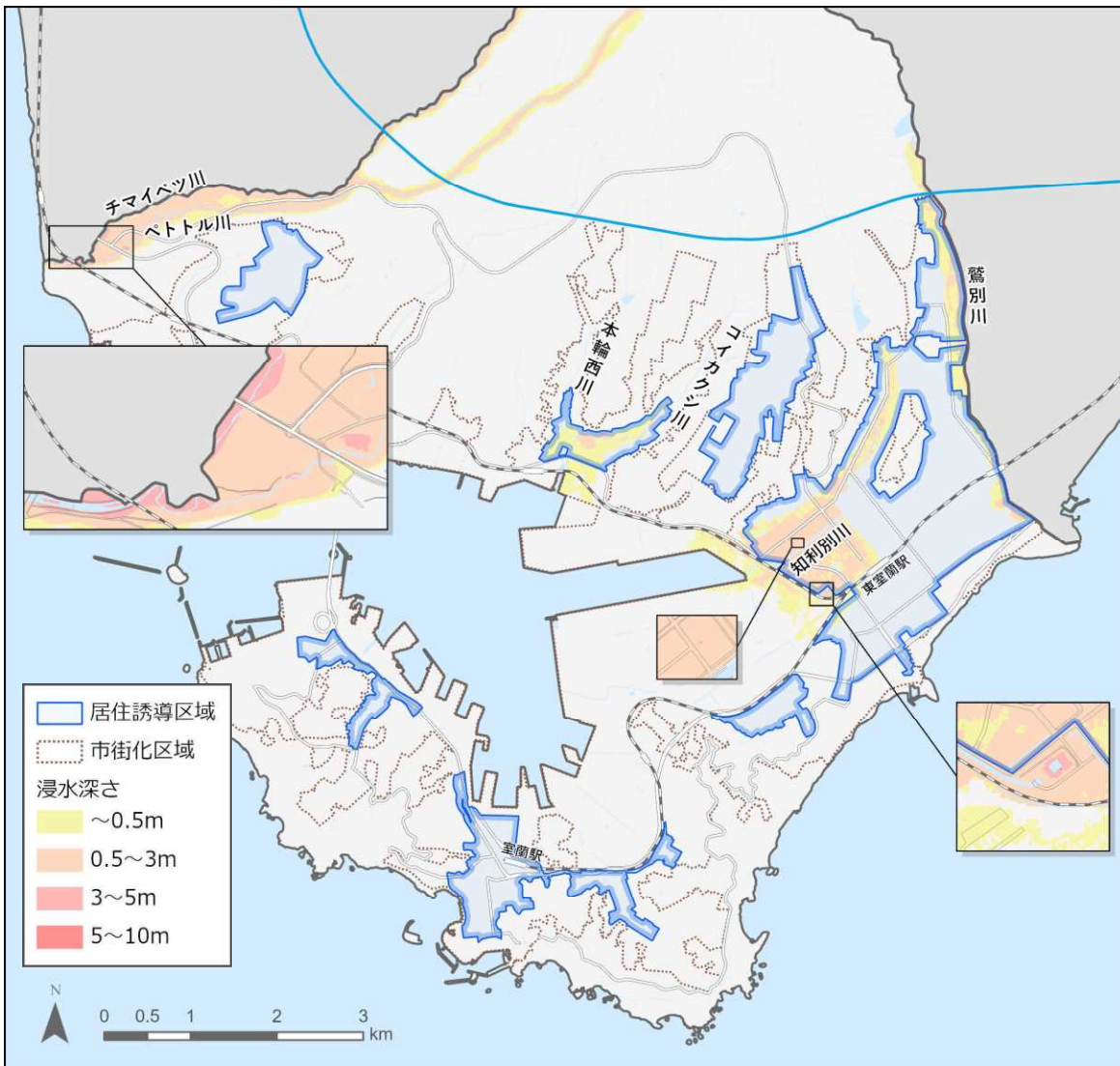
- チマイベツ川・ペトルル川の浸水区域の一部で垂直避難が困難となる浸水深3m以上の区域がみられるが、居住誘導区域外である。
- 知利別川の浸水区域については、誘導区域内にもわずかに浸水深3m以上の区域がみられる。

想定最大規模：1000年に1回程度の割合で発生する降雨を想定。1年の発生確率が1/1000(0.1%)であり、発生確率は小さいが、規模が大きいことから、最悪の事態を想定し、想定最大規模を用いる。

※ コイカクシ川、本輪西川については想定最大規模のデータがないため計画規模



出典：浸水ナビHPを基に作成



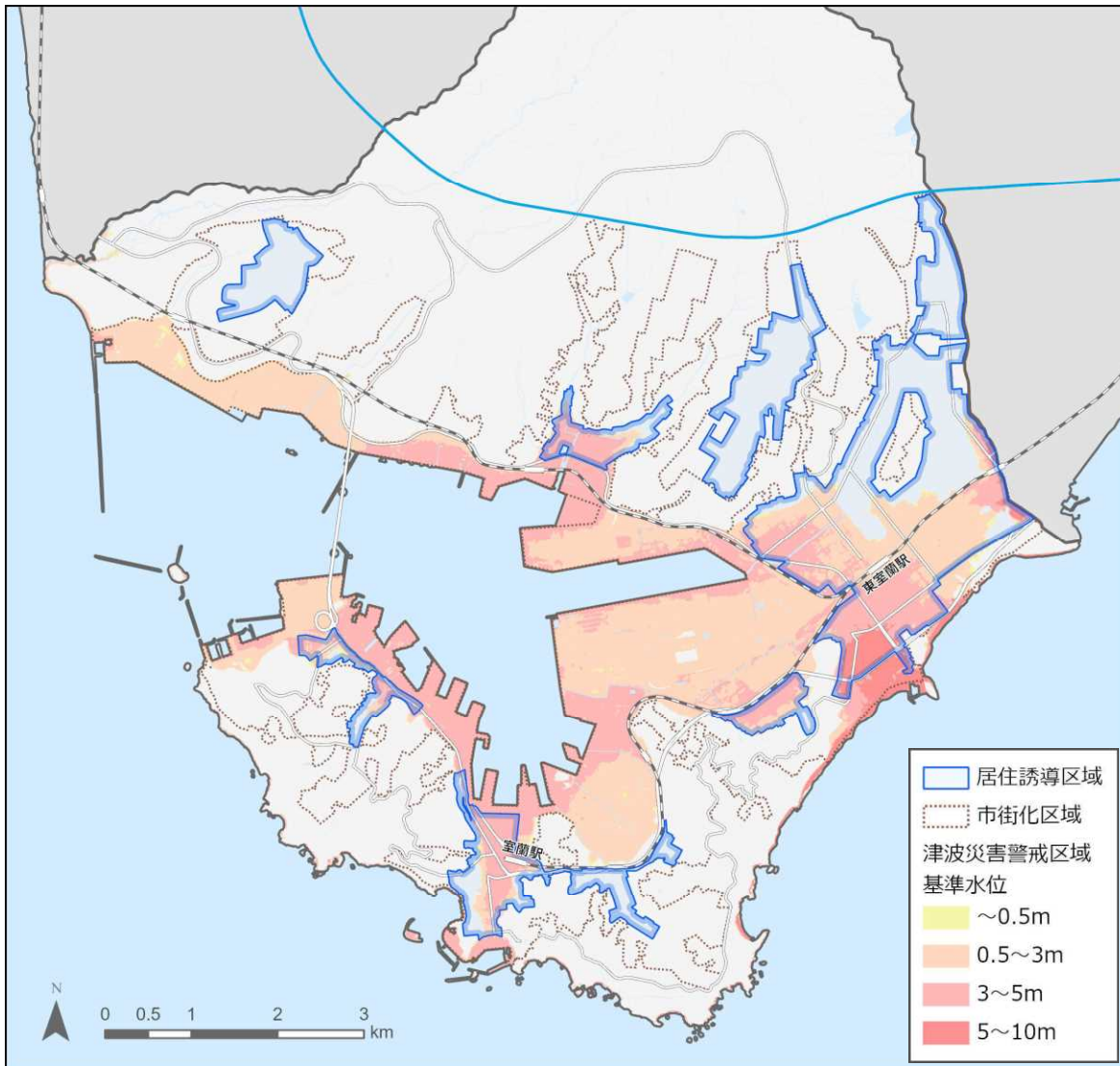
出典：室蘭市オープンデータライブラリ(洪水浸水深さ)、室蘭市所有データ(鷺別川、チマイベツ川)を基に作成

2. ハザード情報の整理

(3) 津波災害警戒区域（基準水位）

- 居住誘導区域の複数の地域で垂直避難が困難となる浸水深3m以上の区域がみられる。
- 特に東室蘭駅の南部（東町付近）では一般的な家屋の2階が浸水する5m以上の浸水深が想定されている。

太平洋沿岸で発生する「最大クラスの津波」を想定。数100年から1,000年に1度程度の頻度で到達する津波で、発生頻度は低いですが、発生すれば甚大な被害をもたらす危険性があることから、最悪の事態を想定し「最大クラスの津波」を用いる。

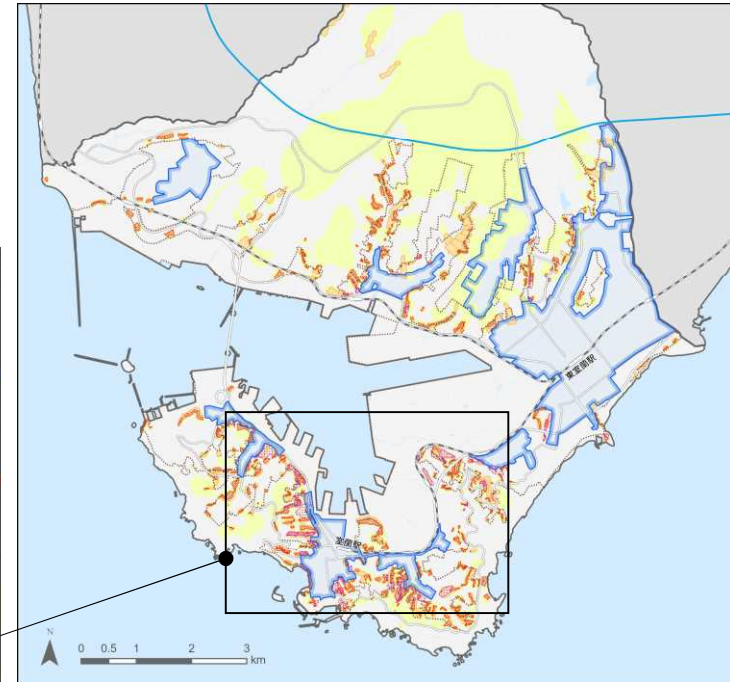
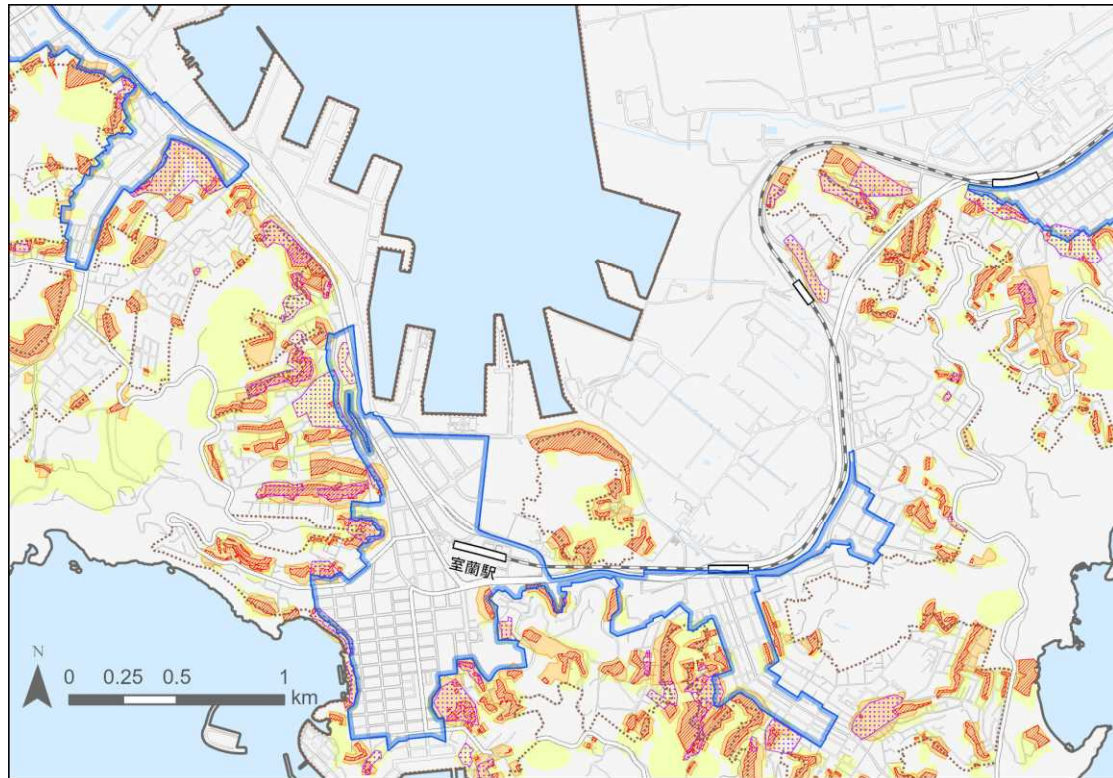


出典：室蘭市オープンデータライブラリ(津波基準水位)を基に作成

2. ハザード情報の整理

(4) 土砂災害によるハザード区域

- 市内居住誘導区域において、平成30年度の計画策定以降、土砂災害特別警戒区域の新たな指定や急傾斜地崩壊危険区域※の存在が確認されており、特に蘭西地区で多く存在している。



※ 急傾斜地崩壊危険区域は、対策済みの箇所があり、すべてを居住誘導区域から除外するものではない

出典：室蘭市オープンデータライブラリ(土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域)、国土数値情報(急傾斜地崩壊危険区域、土砂災害危険箇所)を基に作成

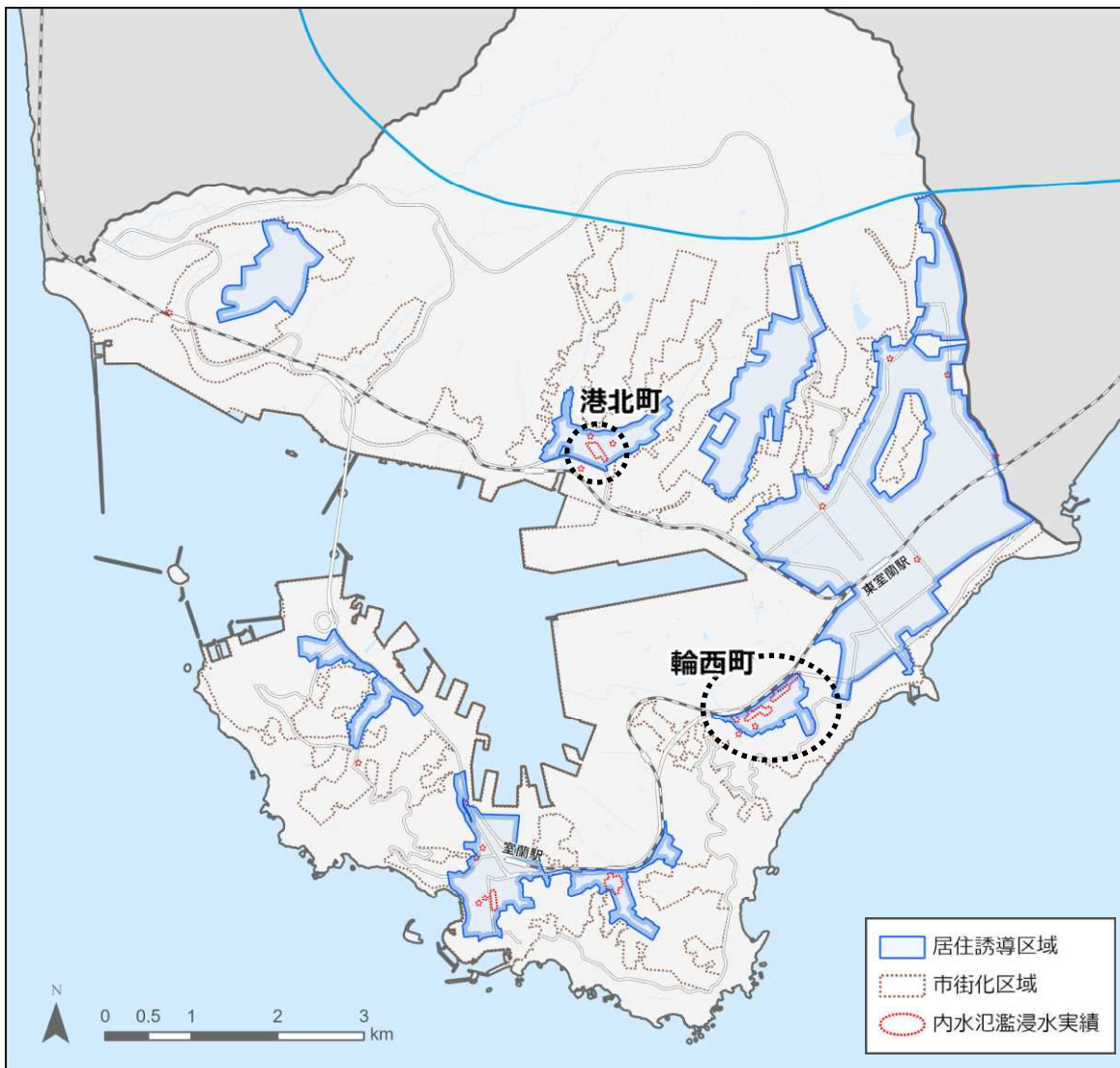
2. ハザード情報の整理

(5) 内水氾濫の浸水実績区域

- 内水氾濫の浸水実績は、居住誘導区域内にも存在している。
- 特に輪西町や港北町付近にまとまった浸水実績区域がある。

内水：
道路や下水道等の排水施設の能力を超えた雨が降ったときや、雨水の排水先の河川の水位が高くなったときなどに、雨水が排水できなくなり、建物や土地、道路などが浸水する現象。

本市では、現在、内水ハザードマップの作成を進めており、令和6年度に公表する予定である。



出典：室蘭市ハザードマップ(内水氾濫 浸水実績図)を基に作成

目次

1. 立地適正化計画 防災指針の役割
2. ハザード情報の整理
- 3. 災害による危険性の高い地域の分析**
4. 市全体および地域別の課題
5. 防災まちづくりの基本的な方針（案）
6. 市全体および地域別の防災方針と取組（案）
7. 防災まちづくりの目標値（案）

3. 災害による危険性の高い地域の分析

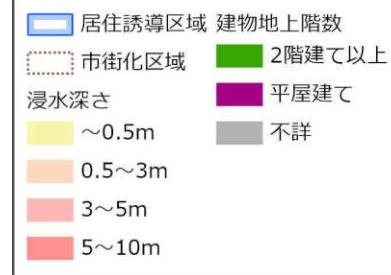
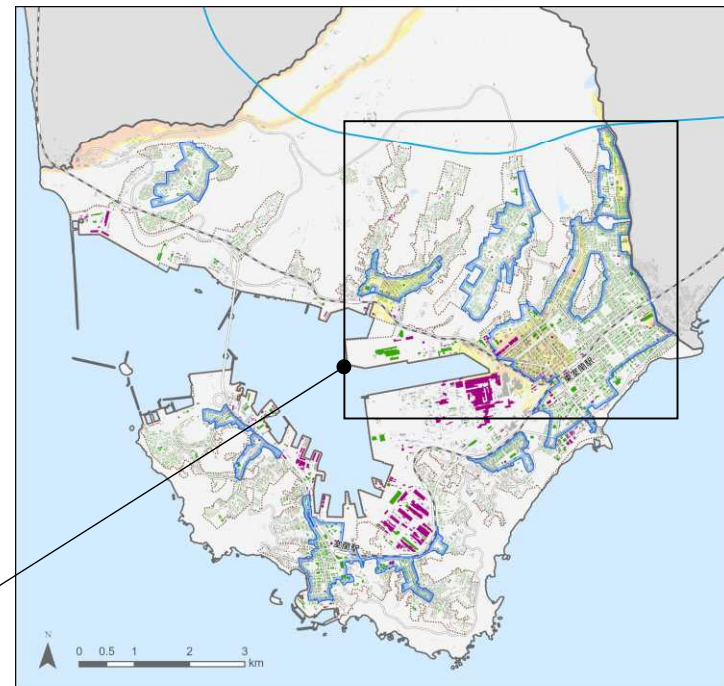
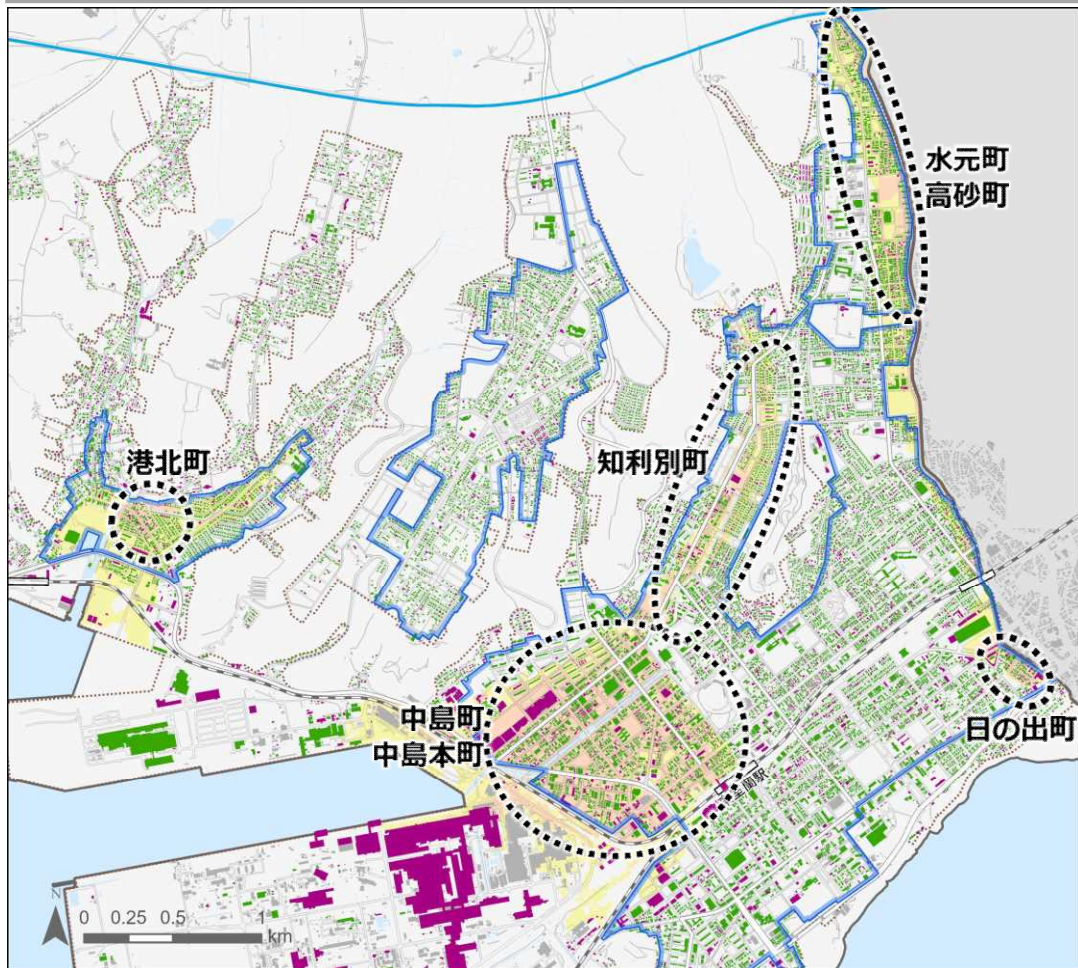
- 各種ハザード情報と都市の情報を組み合わせることによって、様々な災害リスクを分析する。

No	情報1	×	情報2	×	情報3	分析視点
1	洪水浸水深	×	建物階数			垂直避難可否
2	洪水浸水深	×	避難施設			避難施設の活用可否
3	洪水浸水深	×	要配慮者利用施設			継続利用可否、避難支援要否
4	洪水浸水深	×	人口分布、高齢者分布			避難支援地域
5	洪水浸水深	×	アンダーパス			避難路活用、孤立地域有無
6	洪水浸水深	×	誘導施設			従業員等の安全、業務継続性
7	家屋倒壊等氾濫想定区域	×	建物分布・建物構造			家屋倒壊のリスク
8	津波浸水深	×	建物構造			家屋流失の危険性
9	津波浸水深	×	避難施設			避難施設の活用可否
10	津波到達時間	×	道路網	×	避難施設	避難可能エリア
11	津波浸水深	×	要配慮者利用施設			継続利用可否、避難支援要否
12	津波浸水深	×	人口分布、高齢者分布			避難支援地域
13	津波浸水深	×	アンダーパス			避難路活用、孤立地域有無
14	津波浸水深	×	誘導施設			従業員等の安全、業務継続性
15	土砂災害警戒区域	×	建物分布			家屋倒壊のリスク
16	土砂災害警戒区域	×	道路網			孤立リスク
17	道路勾配（急勾配箇所）	×	避難施設			冬期避難の困難エリア （特に高齢者徒歩）
18	避難施設	×	避難圏域人口	×	避難施設容量	避難キャパの過不足

3. 災害による危険性の高い地域の分析

(1) 洪水浸水深×建物階数 | 垂直避難可否

- 浸水深0.5m以上3m未満の区域では、床上浸水の危険性はあるものの、地上2階建て以上の建物が多く分布しており、2階以上の建物への垂直避難が可能なエリアが多い。



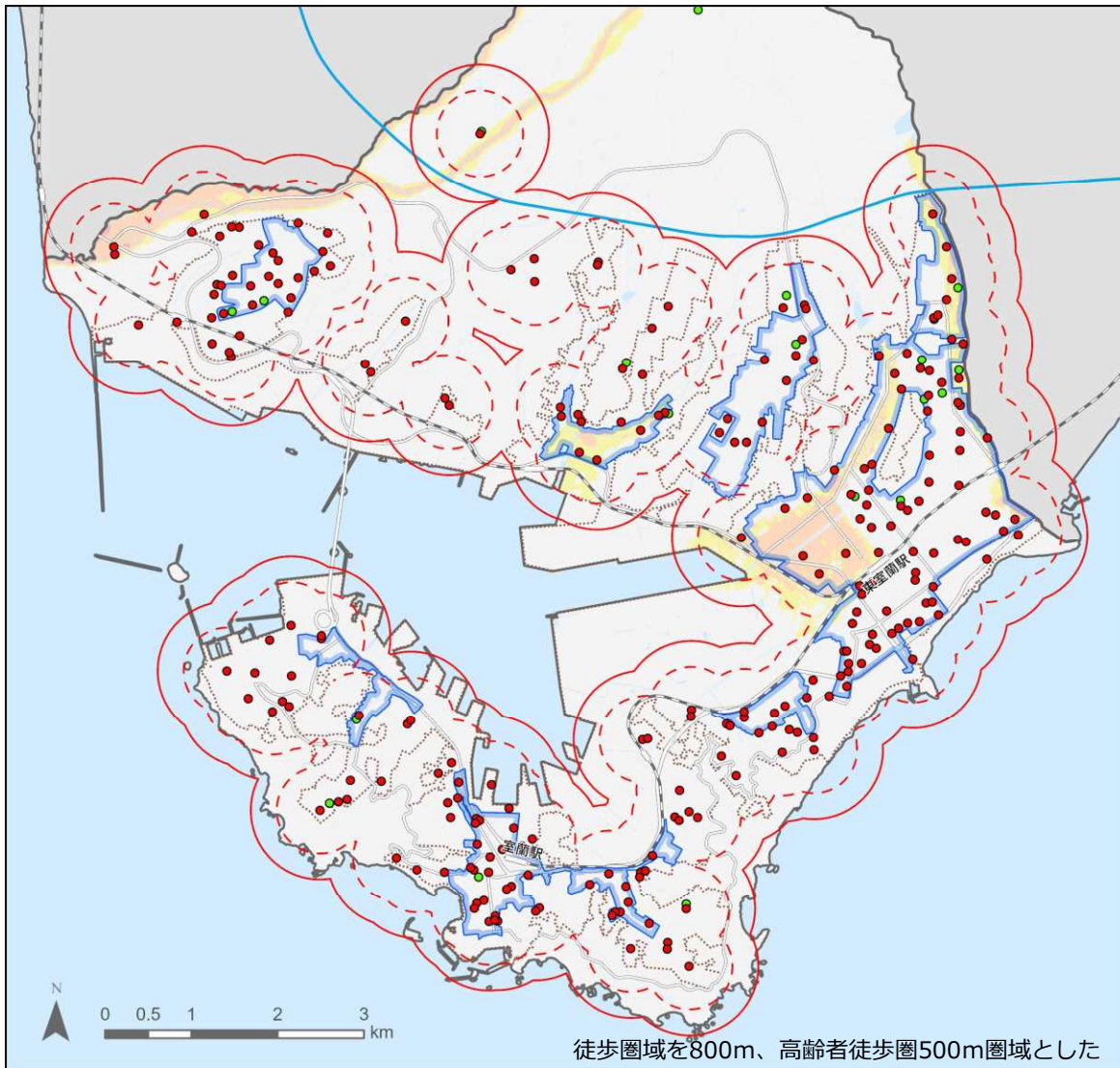
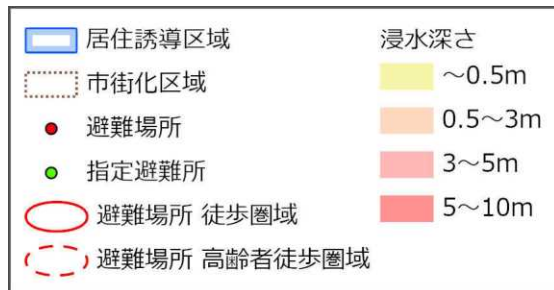
※ コイカクシ川、本輪西川については計画規模
そのほかの河川は想定最大規模

出典：室蘭市オープンデータライブラリ(洪水浸水深さ)、
室蘭市所有データ(鷲別川、チマイベツ川)、
平成27年都市計画基礎調査を基に作成

3. 災害による危険性の高い地域の分析

(2) 洪水浸水深×避難施設 | 避難施設の活用可否

- 居住誘導区域内の洪水浸水区域は、洪水災害時、または災害のおそれがあるときに、一時的に避難する避難場所に含まれる。

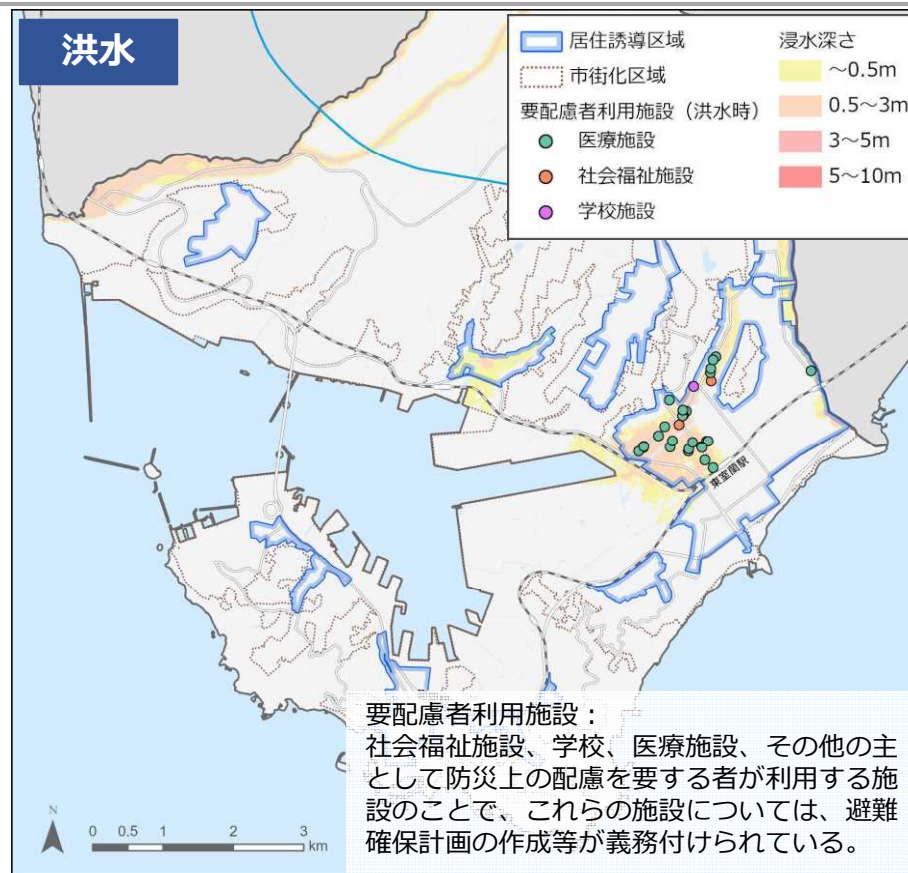


出典：室蘭市オープンデータライブラリ(洪水浸水深さ)、室蘭市所有データ(鶯別川、チマイベツ川)を基に作成

3. 災害による危険性の高い地域の分析

(3) 洪水浸水深×要配慮者利用施設 | 継続利用可否、避難支援要否

- 東室蘭駅の北側は、洪水浸水エリアとなっており、また医療施設の分布も多いため、要配慮者利用施設が集積している。
- これらの施設は、健康や生命維持等に欠かせない医療施設や、日常的な生活を支える施設等を含み、サービスの維持・継続の必要性が高いため、被災後の継続利用についても検討が必要である。

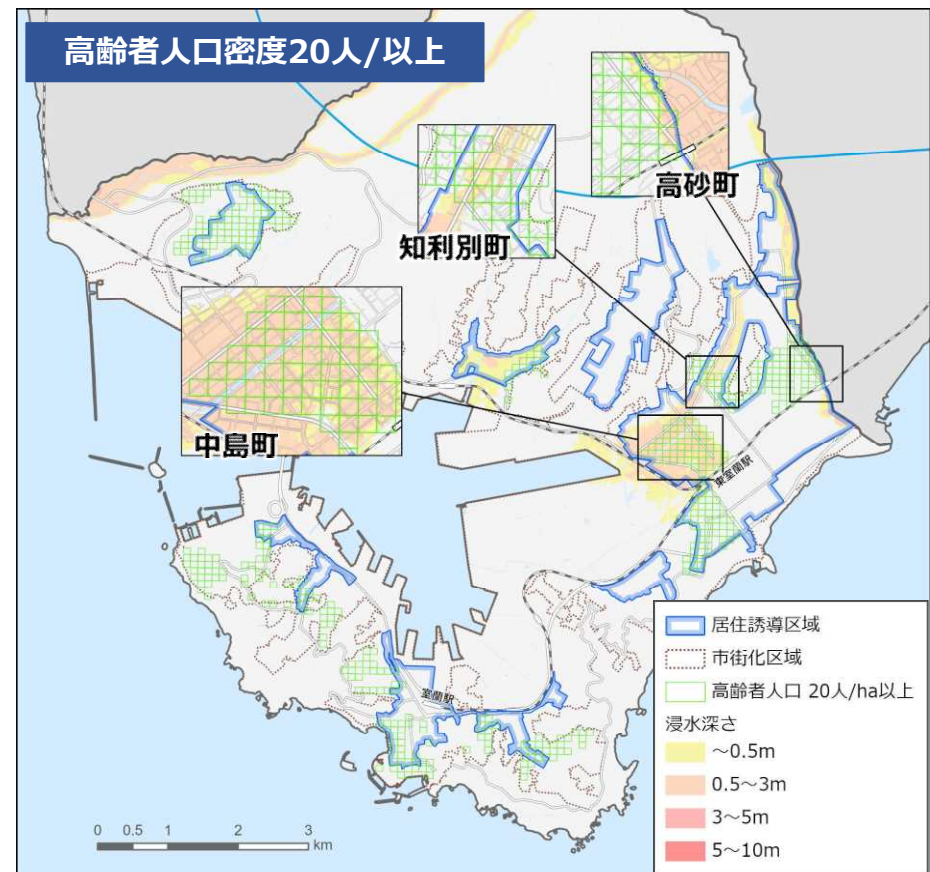


出典：室蘭市オープンデータライブラリ(洪水浸水深さ)、室蘭市所有データ(鷺別川、チマイベツ川)、室蘭市所有データ(要配慮者利用施設)を基に作成

3. 災害による危険性の高い地域の分析

(4) 洪水浸水深×人口密度・高齢者人口密度 | 避難支援地域

- 中島町および中島本町など人口密度40人/ha以上の人口集積地でも0.5m以上の床上浸水が想定される。
- 特に中島町の広い範囲をはじめ、知利別町や高砂町の一部では、高齢者人口密度が高い区域での床上浸水が想定されている。

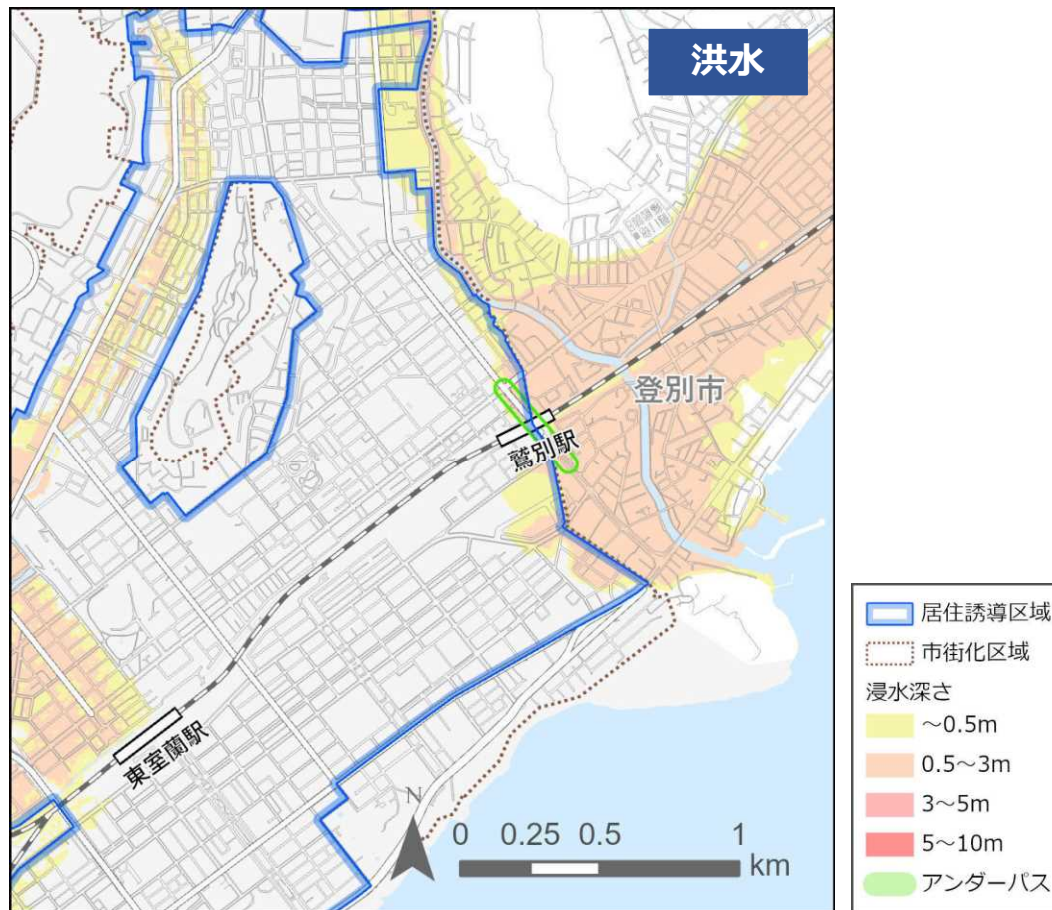


出典：室蘭市オープンデータライブラリ(洪水浸水深さ)、室蘭市所有データ(鷺別川、チマイベツ川)、令和2年国勢調査を基に作成

3. 災害による危険性の高い地域の分析

(5) 洪水浸水深×アンダーパス | 避難路活用、孤立地域有無

- 本市と登別市をまたぐ道道107号室蘭環状線に鷺別アンダーパスがあり、洪水災害発生時には避難路としての利用が困難となることが想定される。

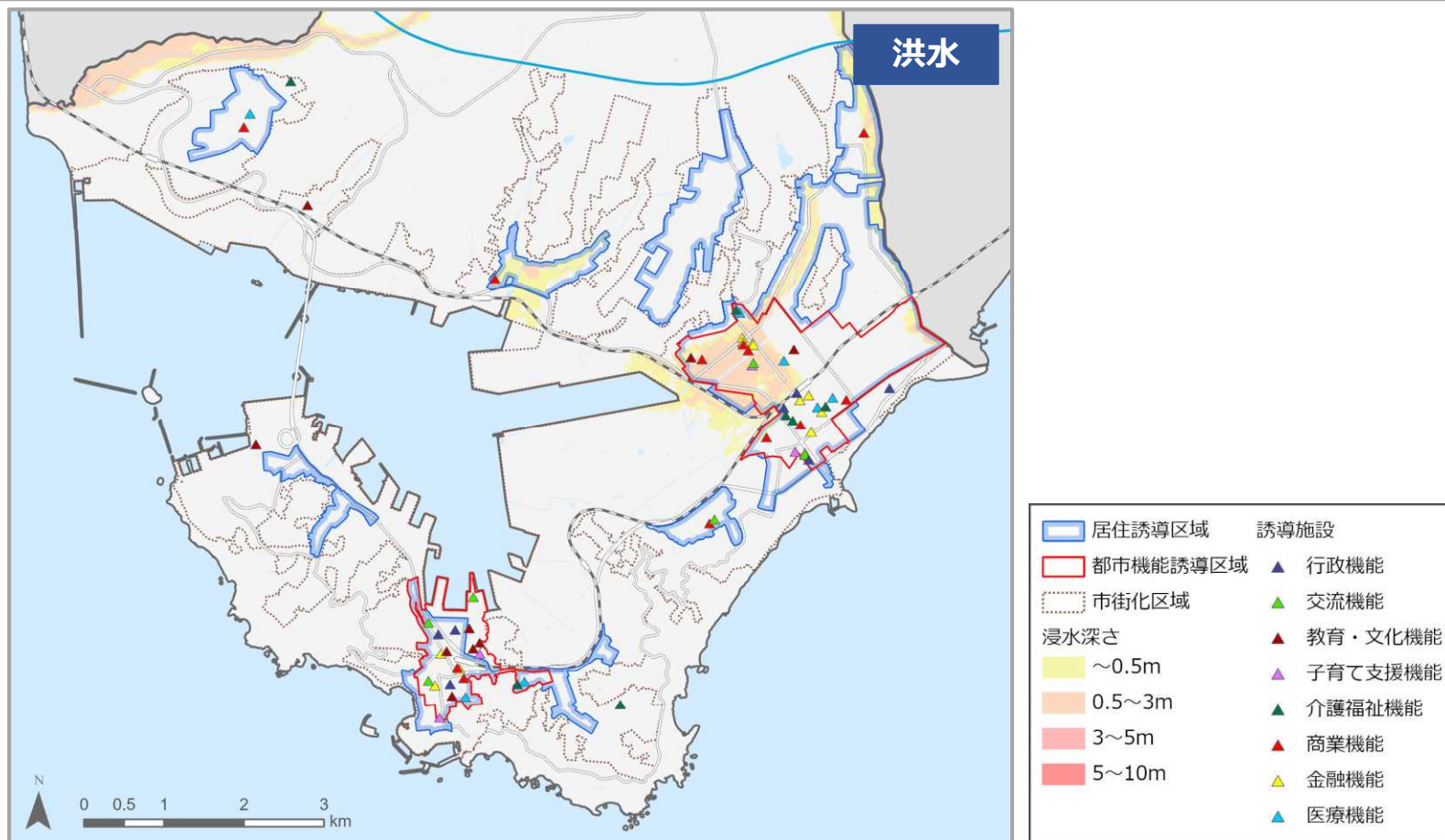


出典：室蘭市オープンデータライブラリ(洪水浸水深さ)を基に作成

3. 災害による危険性の高い地域の分析

(6) 洪水浸水深×誘導施設 | 従業員等の安全、業務継続性

- 中島町の浸水深さ0.5mを超えるエリアには、誘導施設のうち商業施設と金融施設が集積している。その他、交流施設や子育て支援施設も立地している。
- 商業系機能が集積する中島町では、居住者のみならず従業員の安全確保を考えることが重要である。

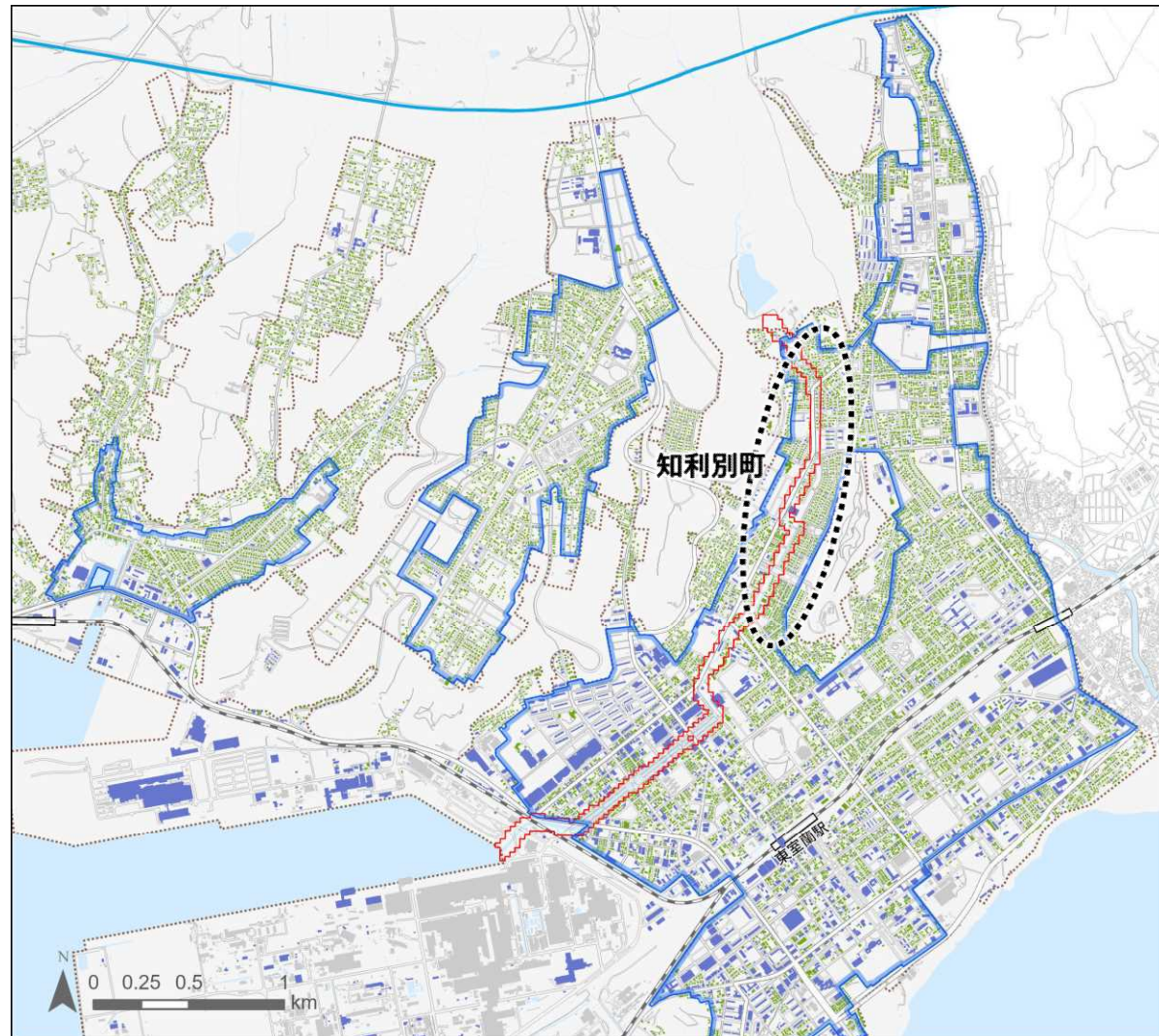


出典：室蘭市オープンデータライブラリ(洪水浸水深さ)を基に作成

3. 災害による危険性の高い地域の分析

(7) 家屋倒壊等氾濫想定区域×建物分布・構造 | 家屋倒壊のリスク

- 知利別川の洪水における家屋倒壊等氾濫想定区域が、居住誘導区域内の住宅にかかっており、知利別町の住宅街で顕著である。
- 住宅の多くは木造住宅であり、洪水時には建物への被害が懸念される。

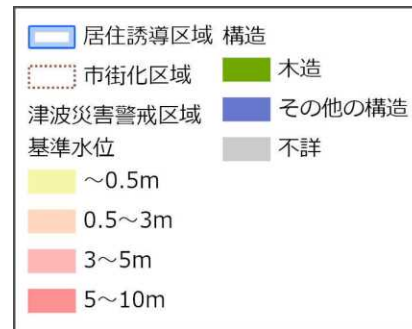
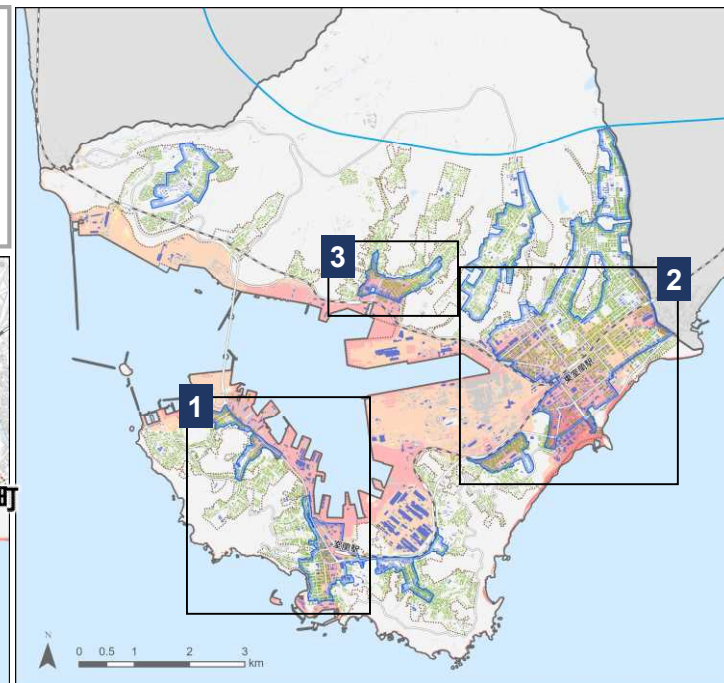
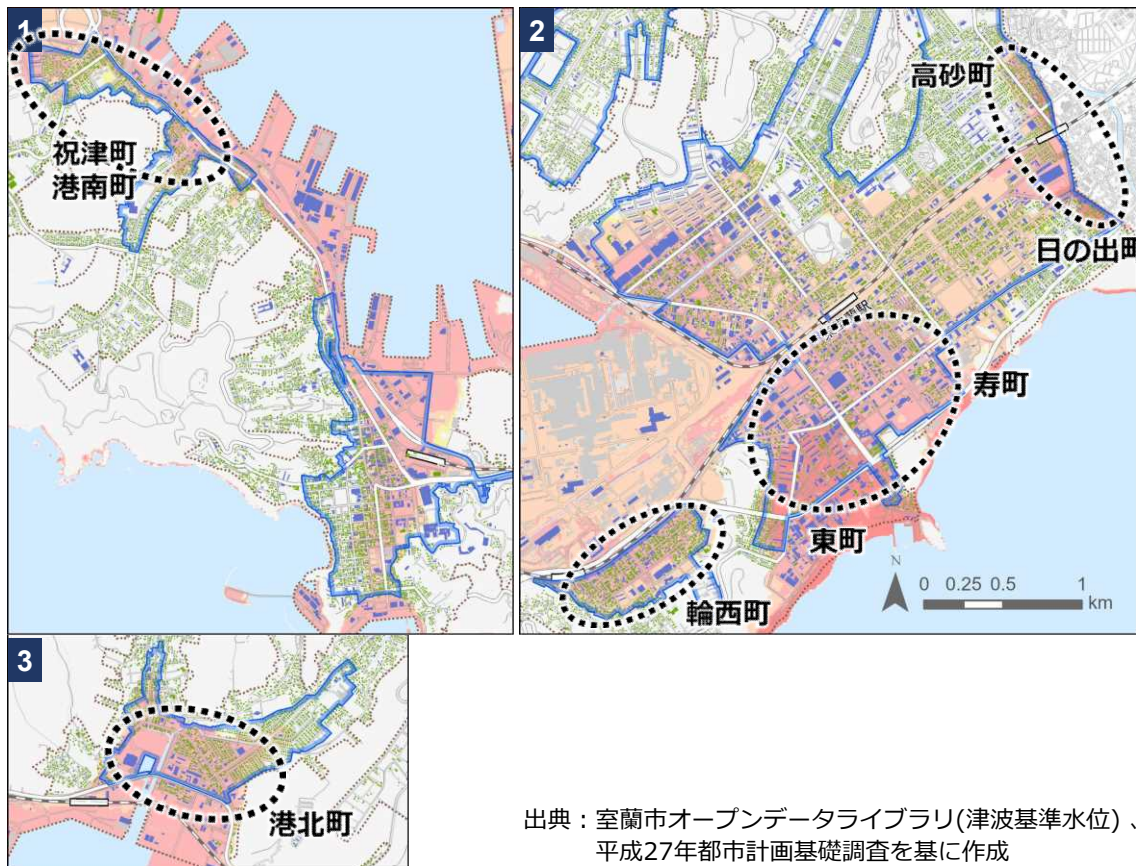


出典：室蘭市所有データ、平成27年都市計画基礎調査を基に作成

3. 災害による危険性の高い地域の分析

(8) 津波基準水位×建物構造 | 家屋流失の危険性

- 3mを超える津波では木造家屋が全壊・流失するなどの大きな被害が想定される。
- 祝津町、港南町、輪西町、東町、寿町、日の出町、高砂町、港北町では3m以上の浸水区域の中に、木造建物の分布が目立つ。



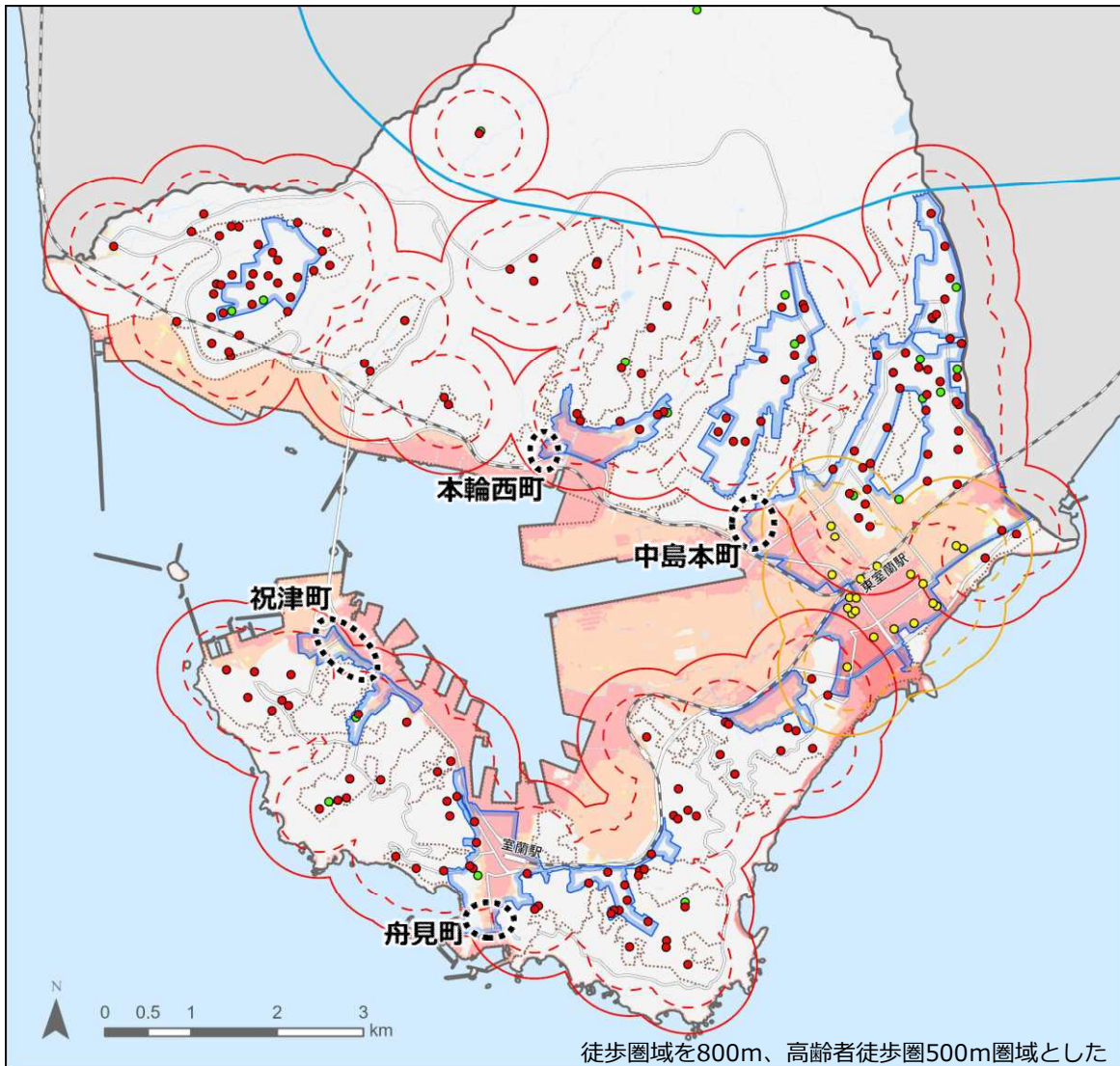
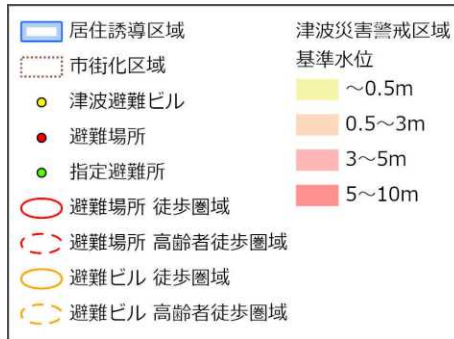
出典：室蘭市オープンデータライブラリ(津波基準水位)、平成27年都市計画基礎調査を基に作成

その他の構造は鉄骨造、鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造等の耐火・準耐火構造

3. 災害による危険性の高い地域の分析

(9) 津波浸水深×避難施設 | 避難施設の活用可否

- 居住誘導区域内の津波浸水区域は、津波災害時、津波災害のおそれがあるときに、一時的に避難する避難場所、および、津波避難ビルの徒歩圏域におおむね含まれる。
- 高齢者徒歩圏域でみると、避難場所・津波避難ビルの徒歩圏域外となるエリアが一部存在する。



出典：室蘭市オープンデータライブラリ(津波基準水位、避難場所)、室蘭市所有データ(避難ビル、指定避難所)を基に作成

3. 災害による危険性の高い地域の分析

(10) 津波災害時の避難場所・津波避難ビルまでの移動所要時間 | 避難可能エリア

- 津波避難の際、祝津町、舟見町、中島本町・中島町、本輪西町、港北町の居住誘導区域の一部で津波到達までに避難場所へ到達できない可能性がある。(冬期・夜間ケースの分析結果)

分析に用いたパラメーター
 避難可能時間 21分 (冬期・夜間を想定)

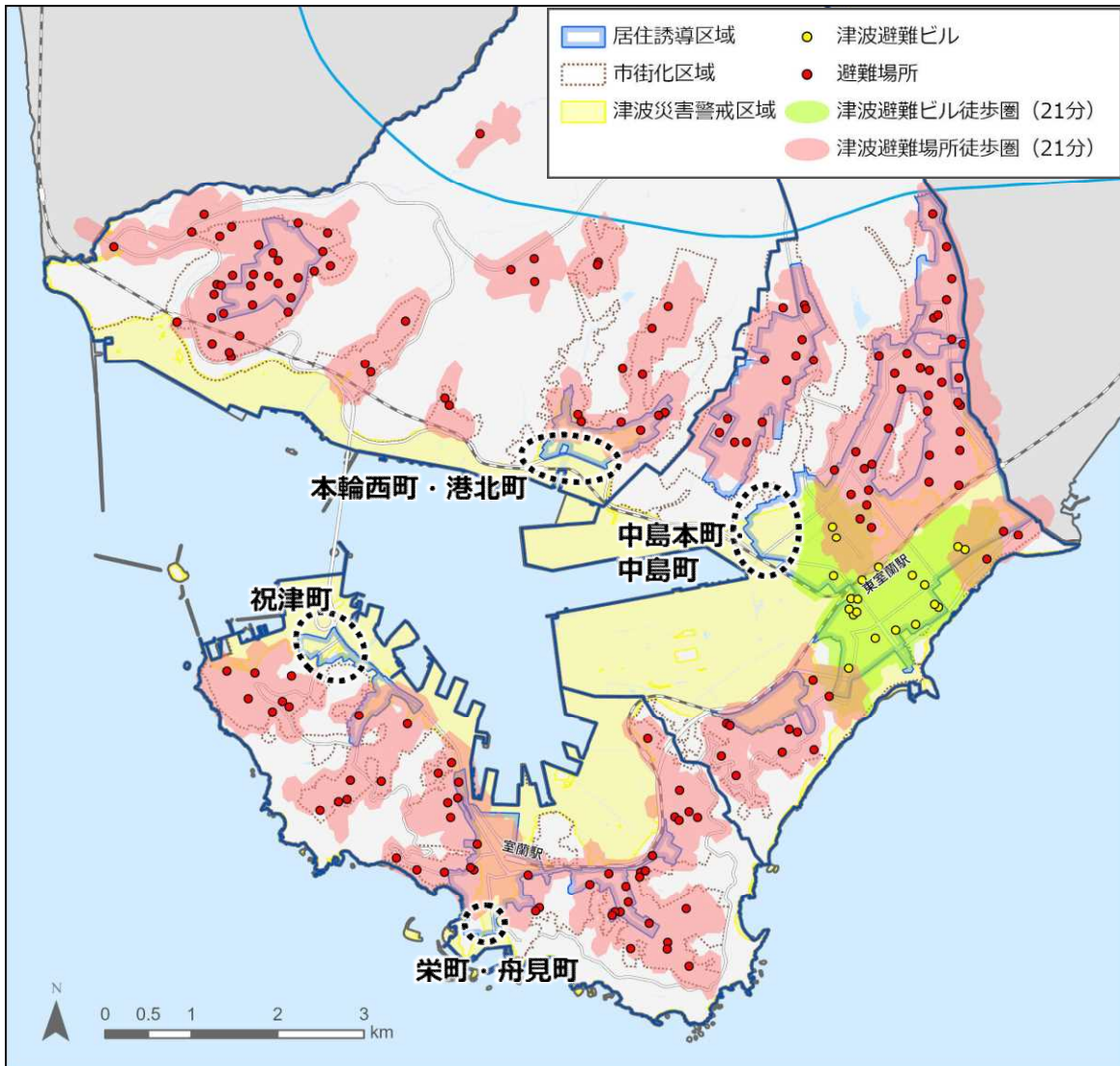
- ・ 津波到達時間 [陸上への影響が始める時間]
 (最短である寿町の値) 33分
- ・ 避難準備時間 (直ちに避難) 12分
 - 身を守る行動 5分
 - 着替え(寝間着) 5分
 - 防寒着着用 2分

(津波到達時間) - (避難準備時間) = 21分

移動速度 0.4m/秒

- ・ 東日本大震災の実績値 0.62m/秒
- ・ 夜間の移動低下を考慮 8/10
- ・ 冬期の移動低下を考慮 8/10

$0.62\text{m/秒} \times 0.8 \times 0.8 = 0.4\text{m/秒}$

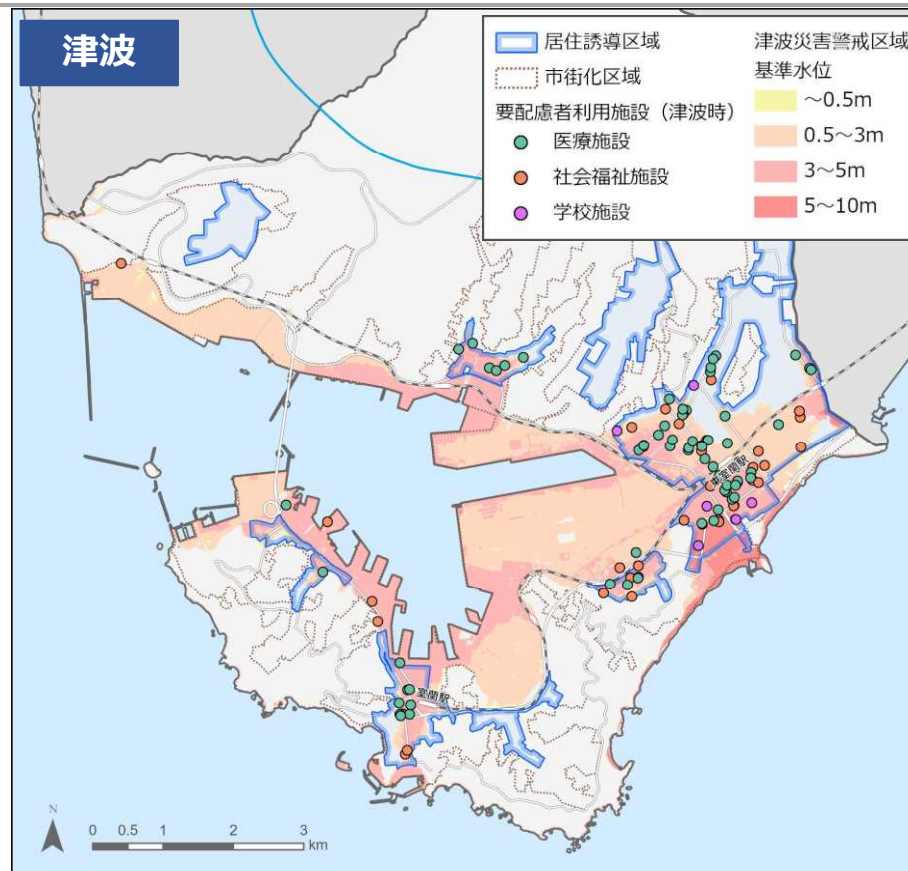


出典：室蘭市オープンデータライブラリ(避難場所)のデータを用い、Esri社 ArcGISで分析

3. 災害による危険性の高い地域の分析

(11) 津波浸水深×要配慮者利用施設 | 継続利用可否、避難支援要否

- 東室蘭駅の北側は、津波浸水エリアとなっており、また医療施設の分布も多いため、要配慮者利用施設が集積している。
- これらの施設は、健康や生命維持等に欠かせない医療施設や、日常的な生活を支える施設等を含み、サービスの維持・継続の必要性が高いため、被災後の継続利用についても検討が必要である。

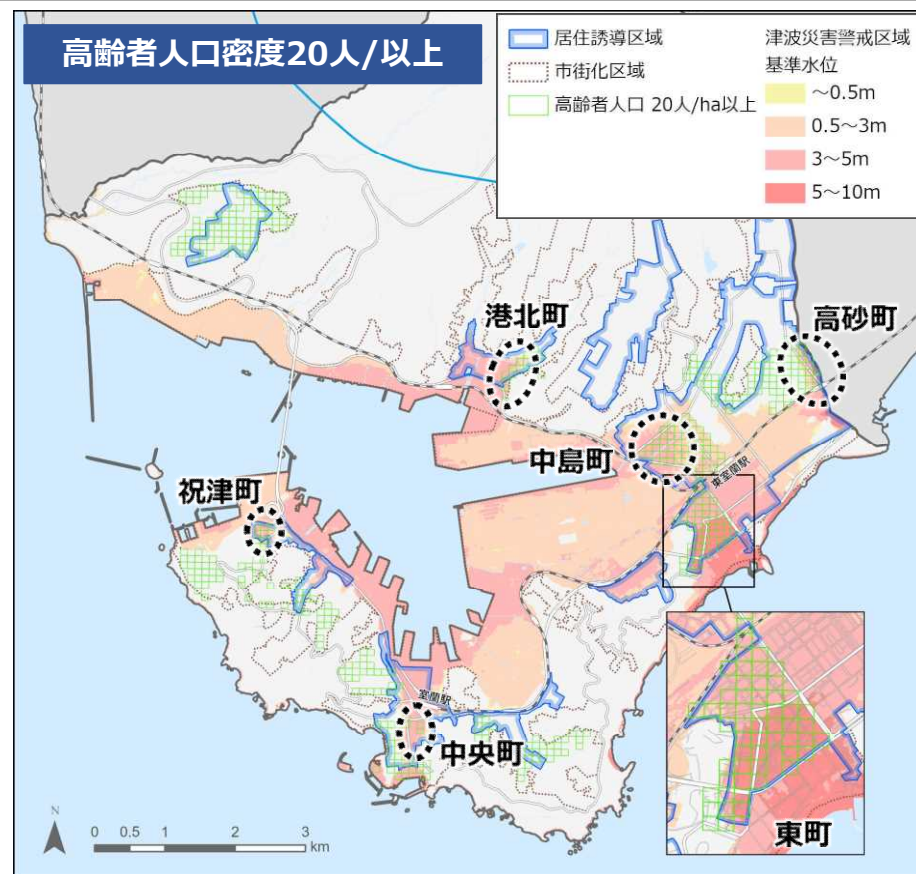
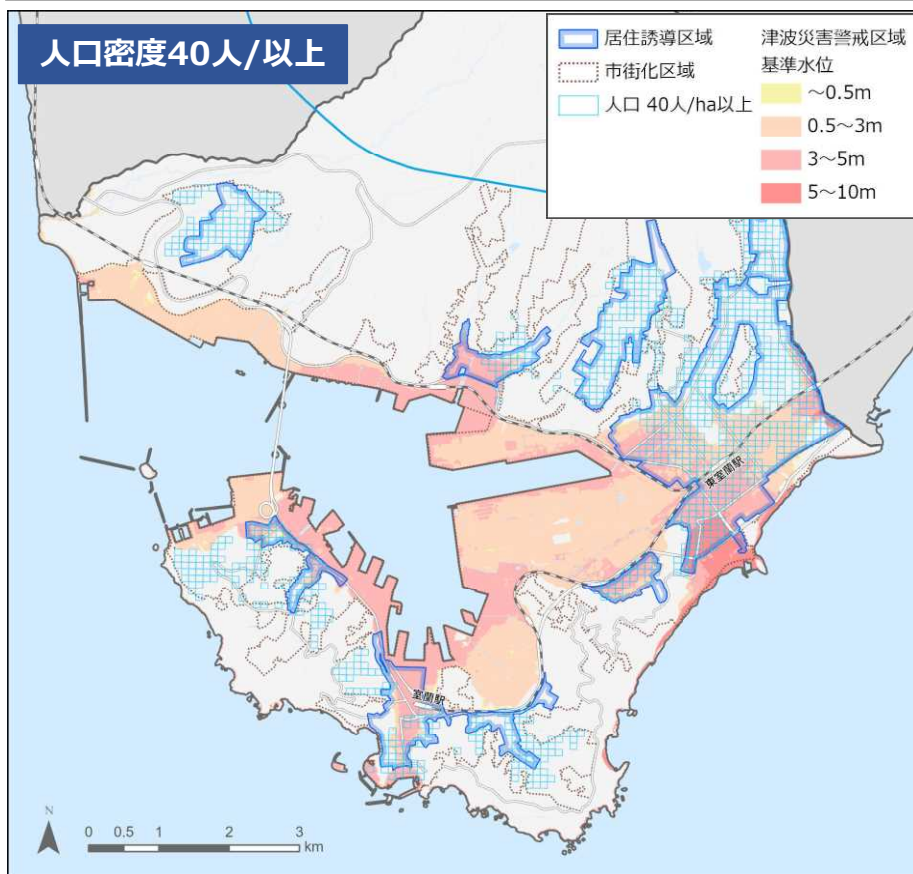


出典：室蘭市オープンデータライブラリ(津波基準水位)、
室蘭市所有データ(要配慮者利用施設リスト)を基に作成

3. 災害による危険性の高い地域の分析

(12) 津波浸水深×人口密度・高齢者人口密度 | 避難支援地域

- 人口の集積地である蘭東地区は、広範囲で津波の被害が想定されている。
- 特に5m以上の津波が想定される東町では、高齢者の人口密度も高く大きな被害が想定される。また、他にも複数の高齢者人口密度の高い地域で3m以上の津波が想定されている。

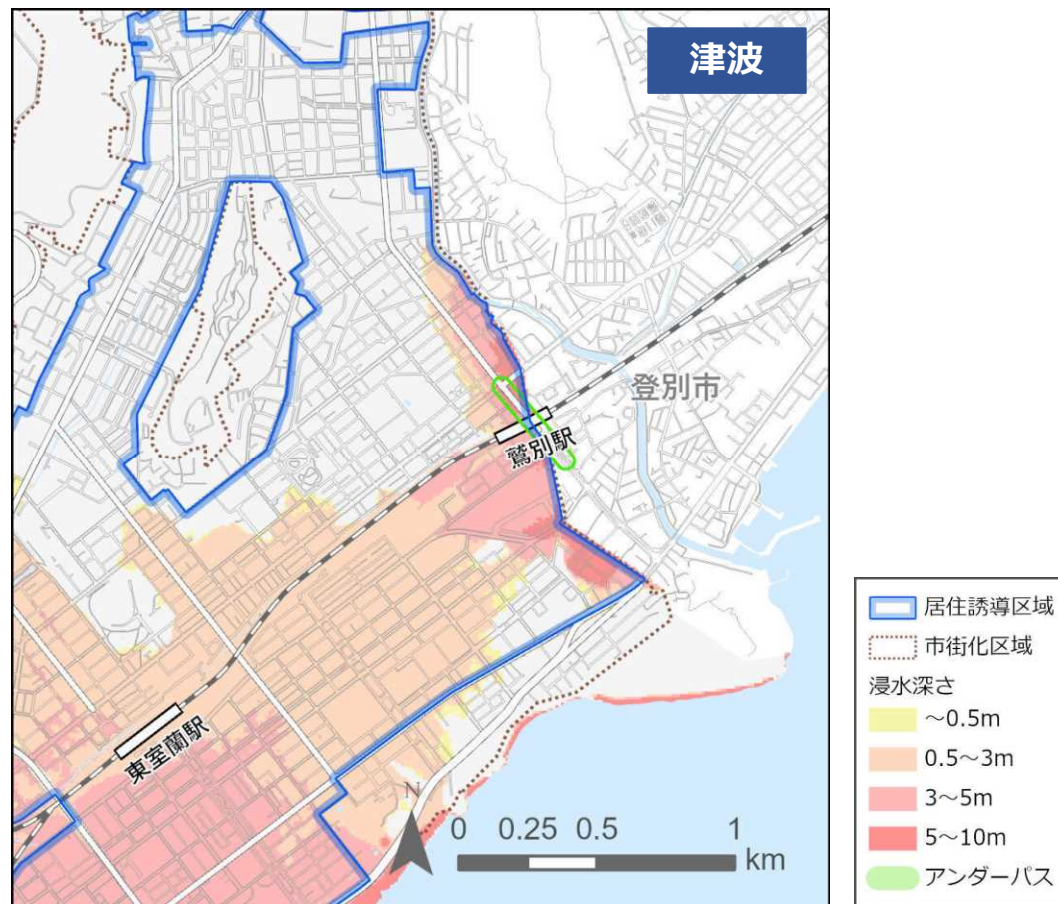


出典：室蘭市オープンデータライブラリ(津波基準水位)、令和2年国勢調査を基に作成

3. 災害による危険性の高い地域の分析

(13) 津波基準水位×アンダーパス | 避難路活用、孤立地域有無

- 本市と登別市をまたぐ道道107号室蘭環状線に鷺別アンダーパスがあり、津波災害発生時には避難路としての利用が困難となることが想定される。

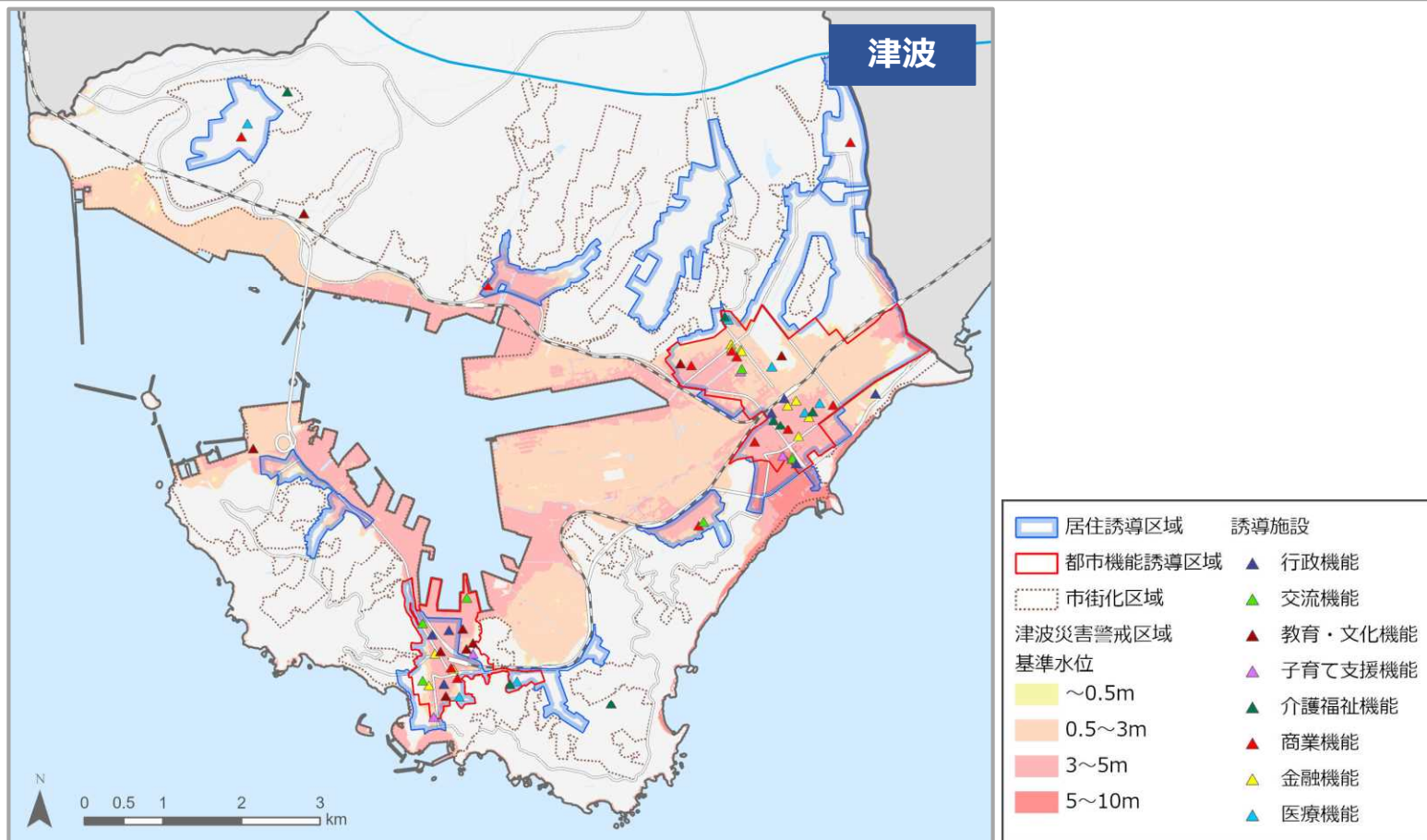


出典：室蘭市オープンデータライブラリ(津波基準水位)を基に作成

3. 災害による危険性の高い地域の分析

(14) 津波基準水位×誘導施設 | 従業員等の安全、業務継続性

- 東室蘭駅南側の東町や寿町の周辺では、浸水深さが3mを超えるエリアに誘導施設となる行政施設や介護福祉施設、商業施設、金融施設、医療施設が多く立地している。
- また、室蘭駅周辺は浸水深さが3mを超えるエリアに国・北海道・室蘭市の行政施設が立地している。



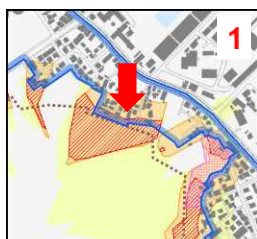
出典：室蘭市オープンデータライブラリ(津波基準水位)を基に作成

3. 災害による危険性の高い地域の分析

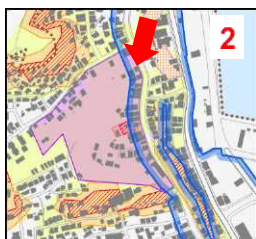
(15) 土砂災害によるハザード区域×建物分布 | 家屋倒壊のリスク

- 土砂災害特別警戒区域や急傾斜地崩壊危険区域が居住誘導区域内に含まれる箇所が複数あり、人および家屋への被害が想定される。
- 急傾斜地崩壊危険区域は対策が進められている。

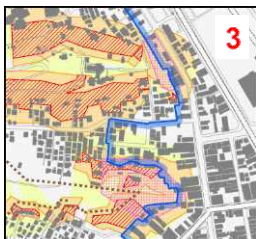
居住誘導区域内に土砂災害特別警戒区域および急傾斜地崩壊危険区域を含む地域の確認



土砂災害特別警戒区域
および急傾斜地崩壊危険区域（対策済）を含む



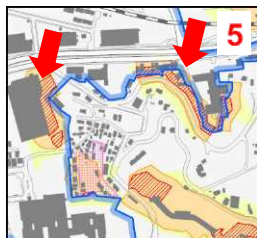
急傾斜地崩壊危険区域
（対策済）を含む



急傾斜地崩壊危険区域
（対策済）を含む



急傾斜地崩壊危険区域
（対策済）を含む



土砂災害特別警戒区域
および急傾斜地崩壊危険区域（対策済）を含む



土砂災害特別警戒区域
および急傾斜地崩壊危険区域（対策済）を含む



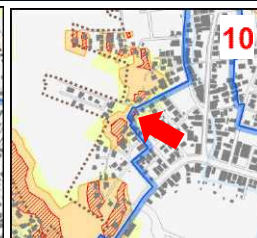
急傾斜地崩壊危険区域
（対策済）を含む



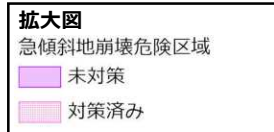
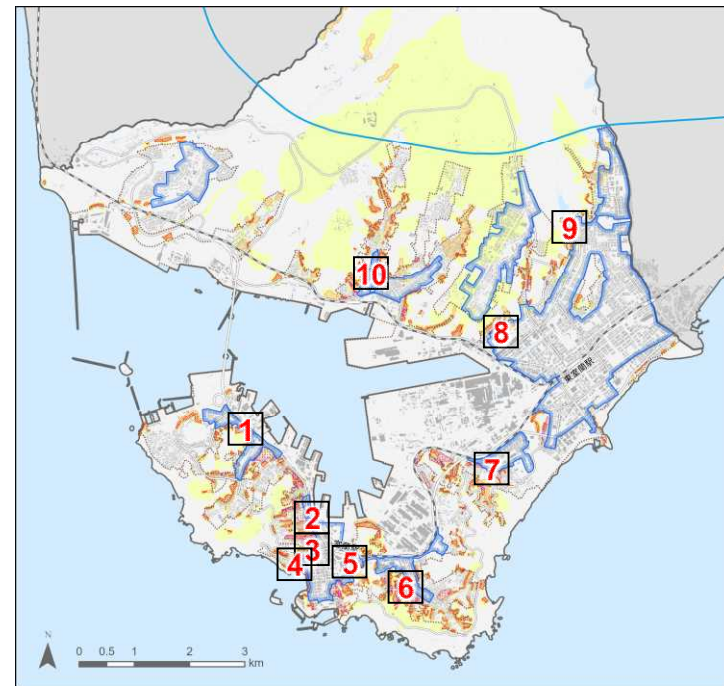
急傾斜地崩壊危険区域
（対策済）を含む



急傾斜地崩壊危険区域
（対策済）を含む



土砂災害特別警戒区域
を含む

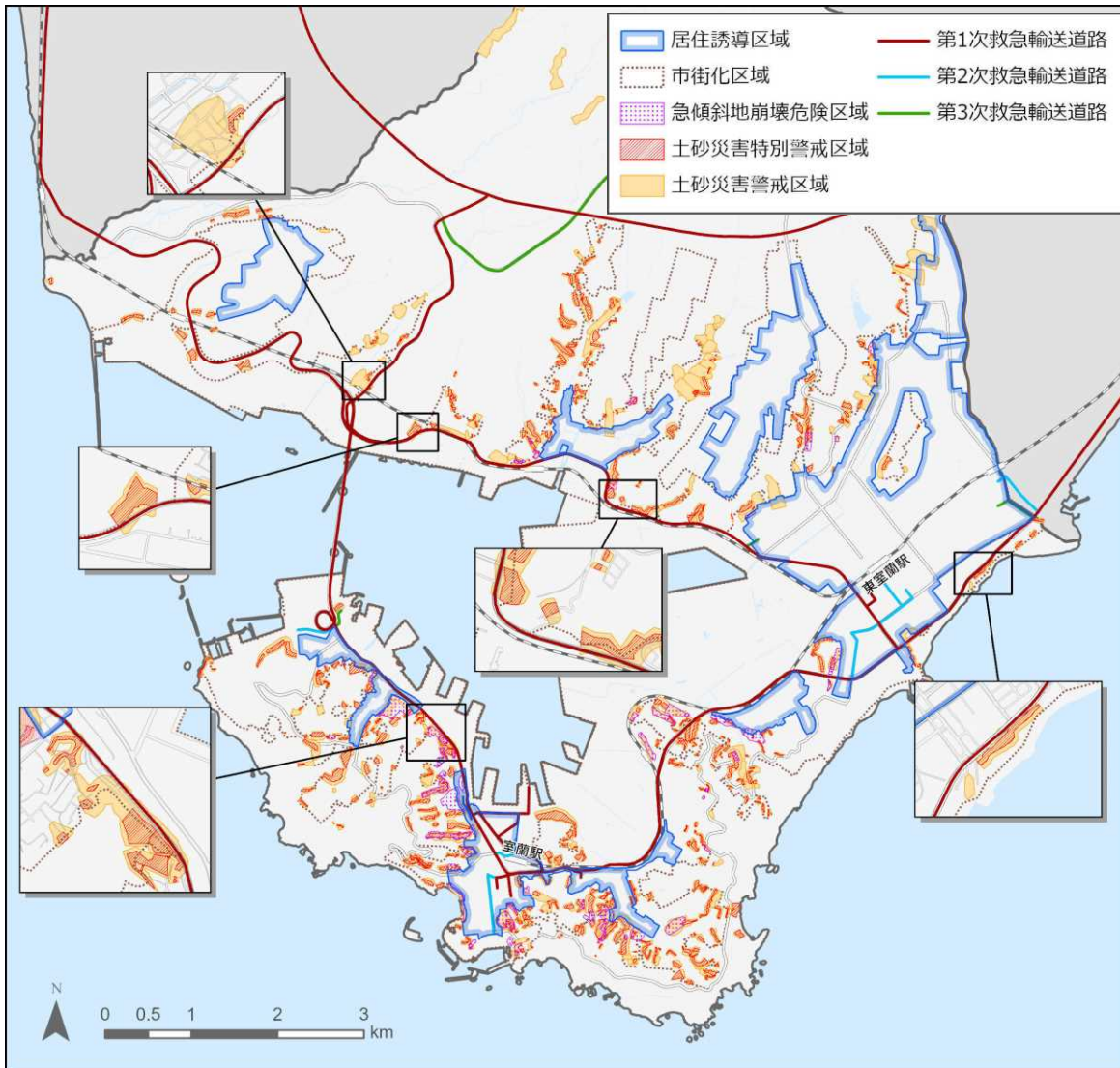


出典：室蘭市オープンデータ(土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域)、室蘭市所有データ(急傾斜地崩壊危険区域)、平成27年都市計画基礎調査を基に作成

3. 災害による危険性の高い地域の分析

(16) 土砂災害によるハザード区域×緊急輸送道路 | 孤立リスク

- 市内の緊急輸送道路は土砂災害警戒区域に含まれる区間が複数あるが、白鳥大橋により環状にネットワークが形成されているため、完全な分断地域は生じないと想定される。
- また、市道等の土砂災害においても居住誘導区域外は完全な分断は生じないと想定される。



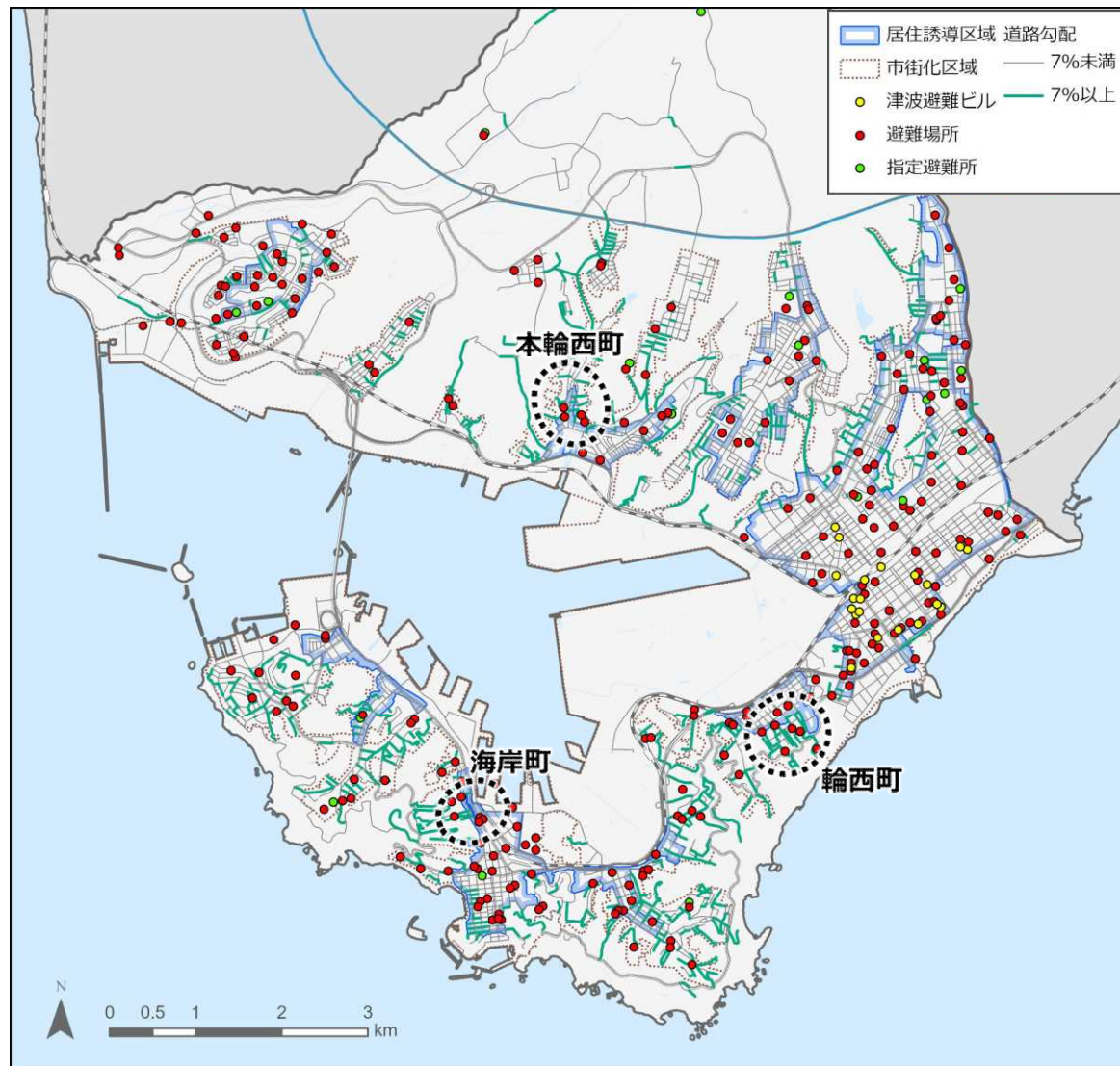
出典：室蘭市オープンデータ(土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域)、室蘭市所有データ(急傾斜地崩壊危険区域)、国土数値情報(緊急輸送道路)を基に作成

3. 災害による危険性の高い地域の分析

(17) 道路勾配×避難施設（避難施設までの急勾配箇所への把握） | 冬期避難の困難エリア（特に高齢者徒歩）

- 本市の道路は内陸部に向かって上り坂となっている箇所が多く、特に急勾配の道路については、徒歩による避難行動を阻害するおそれがある。

※バリアフリー法 建築物移動等円滑化誘導基準におけるスロープ勾配（屋外）6.67%以下を基に、7%を基準とした
※勾配は道路リンク両端の標高と道路延長から算出した値であり、実際の道路勾配を表したものではない



出典：デジタル道路地図 全道路リンク、基盤地図情報 数値標高モデルを基に作成

3. 災害による危険性の高い地域の分析

(18) 指定避難所とその圏域避難人口 | 避難キャパの過不足

- 津波災害では、蘭北地区以外で、避難所を要する人数が、市内の避難所収容人数を上回る可能性がある。
- 市内の避難所の確保の他、避難者の受け入れに関し他の市町村との連携を図る必要がある。

地区	避難所	収容人数 (人)
蘭西地区	みなと小学校体育館	1,924
	室蘭清水丘高等学校体育館	340
	室ガス文化センター	216
	子ども発達支援センター (あいくる)	86
	計	2,566
蘭東地区	旭ヶ丘小学校体育館	1,082
	室蘭工業高等学校体育館	246
	海星学院高等学校体育館	200
	市立室蘭看護専門学院	200
	東明中学校	1,071
	室蘭東翔高等学校体育館	226
	天神小学校体育館	233
	室蘭工業大学体育館	493
	北海道大谷室蘭高等学校体育館	460
	八丁平小学校体育館	916
	計	5,219

地区	避難所	収容人数 (人)
蘭北地区	蘭北小学校体育館	960
	港北中学校	993
	サンパワー宿泊研修所	152
	白蘭小学校体育館	938
	本室蘭中学校	1,216
	喜門岱小学校体育館	237
	計	4,496

地区	収容人数 (人)	避難人口 (人)		
		洪水災害	津波災害	土砂災害
蘭西地区	2,566	0	3,931	2,985
蘭東地区	5,219	5	18,334	2,152
蘭北地区	4,496	3	1,758	1,524

※避難施設は洪水災害、津波災害、土砂災害いずれも使用可能である

※避難人口は以下とした

洪水災害：浸水深さ3m以上の区域内の人口

津波災害：津波災害警戒区域内の人口

土砂災害：土砂災害警戒区域・特別警戒区域・急傾斜地崩壊危険区域内の人口

(これらすべてが避難所を要するとは限らない)

目次

1. 立地適正化計画 防災指針の役割
2. ハザード情報の整理
3. 災害による危険性の高い地域の分析
- 4. 市全体および地域別の課題**
5. 防災まちづくりの基本的な方針（案）
6. 市全体および地域別の防災方針と取組（案）
7. 防災まちづくりの目標値（案）

4. 市全体および地域別の課題

(1) 災害別の課題

	課題
洪水 災害	<p>【中島町、中島本町、知利別町、港北町、水元町、高砂町、日の出町】 浸水深0.5m以上となり、避難が必要な地域である。 ⇒治水対策とともに、速やかな避難行動をとれるよう住民の防災意識を向上する必要がある。</p> <p>【中島町・高砂町・知利別町】 浸水区域内は高齢者人口密度が高く、中島町については要配慮者利用施設の立地が多い。 ⇒高齢者の避難や要配慮者利用施設における避難を速やかに行うための体制を整える必要がある。</p> <p>【知利別町】 家屋倒壊等氾濫想定区域内に多数の木造家屋が含まれ、家屋への損害が想定される。 ⇒徹底した区域の周知と防災意識の向上が必要である。</p> <p>【中島町】 都市機能誘導区域内の浸水深さ0.5mを超える区域には、商業施設や金融施設の立地が多い。 ⇒従業員の安全確保と被災後の迅速な営業再開に向けた準備が必要である。</p>

4. 市全体および地域別の課題

(1) 災害別の課題

	課題
津波 災害	<p>【地域共通】 広範囲で津波警戒区域に指定されており、要配慮者利用施設も存在する。 ⇒住民の防災意識を高め、災害に備える必要がある。建物の強靱化に努める必要がある。要配慮者利用施設の避難確保計画等の着実な作成・運用が必要である。</p> <p>蘭西や蘭東地区では、災害時に避難所の収容人数が不足する可能性がある。 ⇒広域連携による災害対応が必要である。</p> <p>【東町】 市内でも特に津波浸水深さが高く、甚大な被害が想定される。また、高齢者人口密度も高く、木造建物が多い地域である。 ⇒大人数が迅速に避難可能な体制の構築が必要である。</p> <p>【寿町・日の出町】 3m以上の大規模な津波が想定される地域、かつ木造住宅が多く立地している。 ⇒自宅での垂直避難が難しく、安全な避難施設への誘導が必要である。</p> <p>【祝津町・中央町・中島町・高砂町・港北町】 3m以上の大規模な津波が想定される地域の中でも高齢者人口密度の高い地域である。また、祝津町では避難場所の高齢者徒歩圏域から一部が外れる。 ⇒高齢者の避難を速やかに行うための体制を整える必要がある。</p> <p>【中島本町】 一部の地域で避難場所の徒歩圏域から外れる。 ⇒浸水想定区域外への迅速な避難など適切な避難行動がとれるよう、当該地域の住民の防災意識を向上する必要がある。</p>

4. 市全体および地域別の課題

(1) 災害別の課題

	課題
津波 災害	<p>【海岸町、輪西町、本輪西町】 内陸部に避難する際の道路勾配が大きい。 ⇒迅速な避難のため、高齢者等の避難支援が必要である。</p> <p>【東町、寿町】 浸水深さ3.0mを超えるエリアに誘導施設となる行政施設や介護福祉施設、商業施設、金融施設、医療施設等が多く立地する。 ⇒様々な施設利用者の避難支援が必要である。施設誘導の際には防災面での配慮が必要である。</p> <p>【幸町、海岸町、入江町】 誘導施設となる国・北海道・室蘭市の行政施設の浸水深さが3.0mを超える。 ⇒災害発生時に迅速に業務を再開できるよう準備が必要である。市役所移転を検討する際には防災面での配慮が必要である。</p>
土砂 災害	<p>【蘭西地区・本輪西町】 土砂災害特別警戒区域および未対策の急傾斜地崩壊危険区域が居住誘導区域内に存在する。 ⇒現計画策定後に判明した新たな危険箇所については居住誘導区域からの除外が必要である。</p> <p>【蘭西地区・輪西町・東町・中島本町・知利別町・天神町・水元町・港北町・本輪西町】 土砂災害警戒区域が居住誘導区域内に存在する。 ⇒住民の防災意識を向上する必要がある。</p>

4. 市全体および地域別の課題

(2) 地域別課題【蘭西】

蘭西地区全体 土砂

- ・ 居住誘導区域にレッドゾーンが存在
- ・ 居住誘導区域に土砂災害警戒区域が存在

● 居住誘導区域の見直し
● 住民の防災意識の向上

祝津町 津波

- ・ 津波浸水深さ3m以上
- ・ 高齢者人口密度が高い
- ・ 一部が津波時避難場所から徒歩圏外

● 高齢者等の避難体制構築
● 避難施設の確保

海岸町 津波

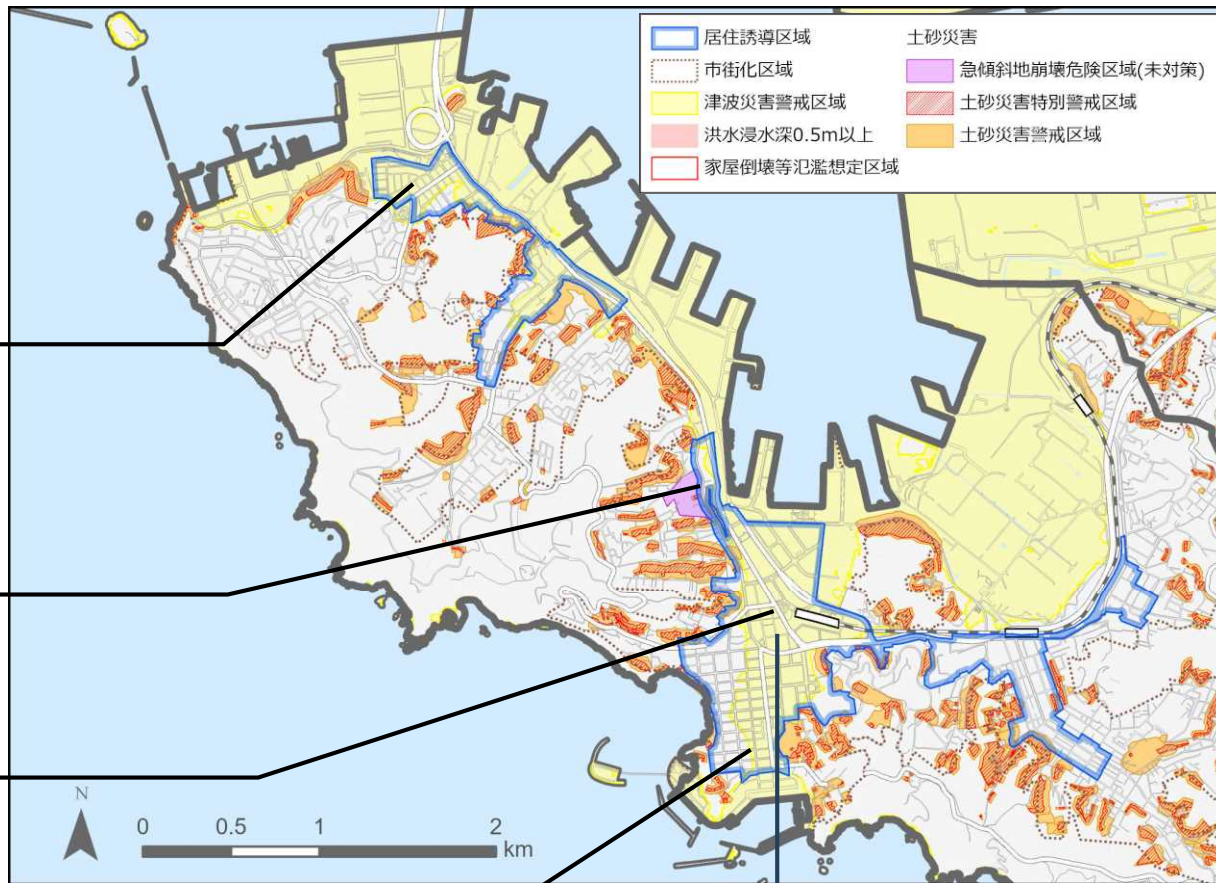
- ・ 避難の際の道路勾配が大きい
- ・ 浸水深さ3m以上に行政施設が立地

● 高齢者等の避難体制構築
● 耐災性、業務継続性の確保

幸町・入江町 津波

- ・ 浸水深さ3m以上に行政施設が立地

● 耐災性、業務継続性の確保



栄町・舟見町 津波

- ・ 一部が津波時避難場所から徒歩圏外

● 避難施設の確保

中央町 津波

- ・ 津波浸水深さ3m以上
- ・ 高齢者人口密度が高い

● 高齢者等の避難体制構築

4. 市全体および地域別の課題

(2) 地域別課題【蘭東】



天神町 土砂

- 居住誘導区域に土砂災害警戒区域が存在
- 住民の防災意識向上

知利別町 洪水

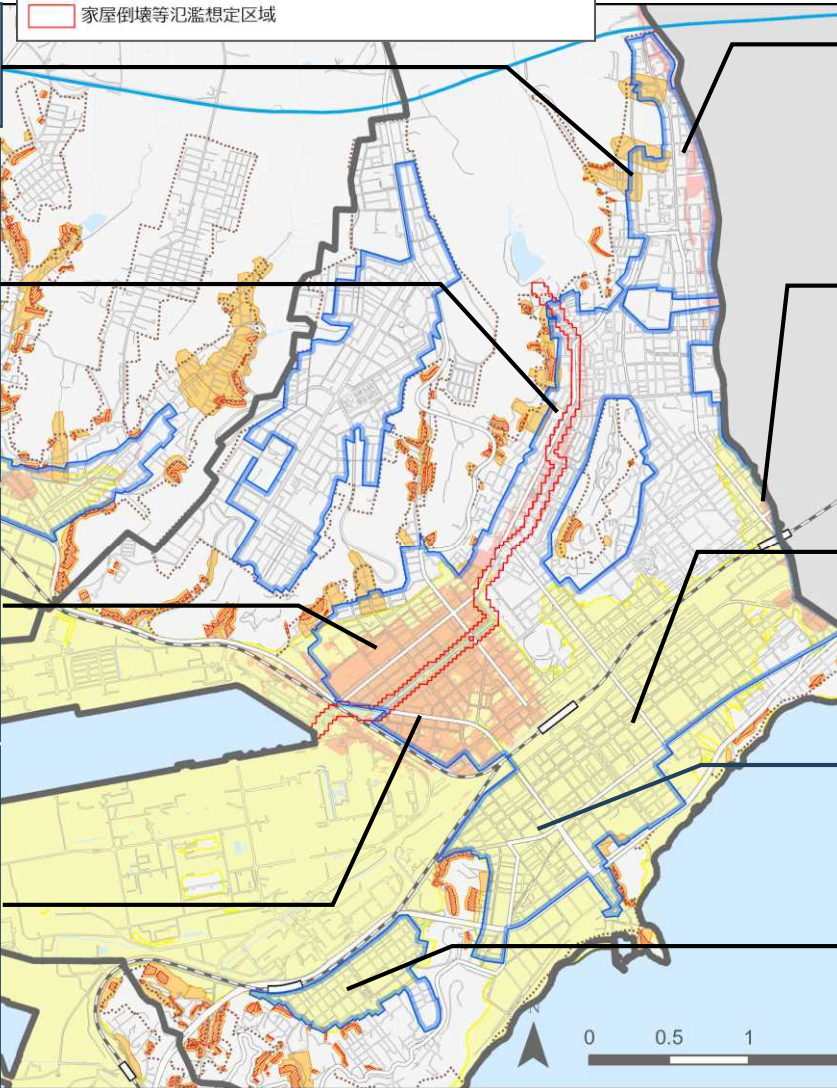
- 洪水浸水深さ0.5m以上
- 高齢者人口密度が高い
- 家屋倒壊等氾濫想定区域に木造家屋が多数分布
- 居住誘導区域に土砂災害警戒区域が存在
- 治水対策
- 住民の防災意識向上
- 高齢者等の避難体制構築
- 危険区域の周知

中島本町 洪水 津波 土砂

- 洪水浸水深さ0.5m以上
- 一部が津波時避難場所から徒歩圏外
- 居住誘導区域に土砂災害警戒区域が存在
- 治水対策
- 住民の防災意識の向上
- 避難施設の確保

中島町 洪水 津波

- 洪水浸水深さ0.5m以上
- 津波浸水深さ3m以上
- 洪水時要配慮者利用施設が集積
- 高齢者人口密度が高い
- 一部が津波時避難場所から徒歩圏外
- 商業・金融施設が洪水浸水想定区域に集積
- 治水対策
- 住民・従業員の防災意識向上
- 要配慮者利用施設や高齢者等の避難体制構築
- 避難施設の確保
- 耐災性・業務継続性の確保



水元町 洪水 土砂

- 洪水浸水深さ0.5m以上
- 居住誘導区域に土砂災害警戒区域が存在
- 治水対策
- 住民の防災意識向上

高砂町 洪水 津波

- 洪水浸水深さ0.5m以上
- 津波浸水深さ3m以上
- 高齢者人口密度が高い
- 治水対策
- 住民の防災意識向上
- 高齢者等の避難体制構築

寿町・日の出町 津波

- 津波浸水深さ3m以上
- 木造建物が多く分布
- 浸水深さ3m以上に誘導施設が多数立地
- 迅速な避難体制の構築
- 耐災性・業務継続性の確保

東町 津波 土砂

- 津波浸水深さ5m以上
- 高齢者人口密度が高い
- 居住誘導区域に土砂災害警戒区域が存在
- 浸水深さ3m以上に誘導施設が多数立地
- 地域全体の防災力の向上
- 住民・従業員の防災意識向上
- 耐災性・業務継続性の確保

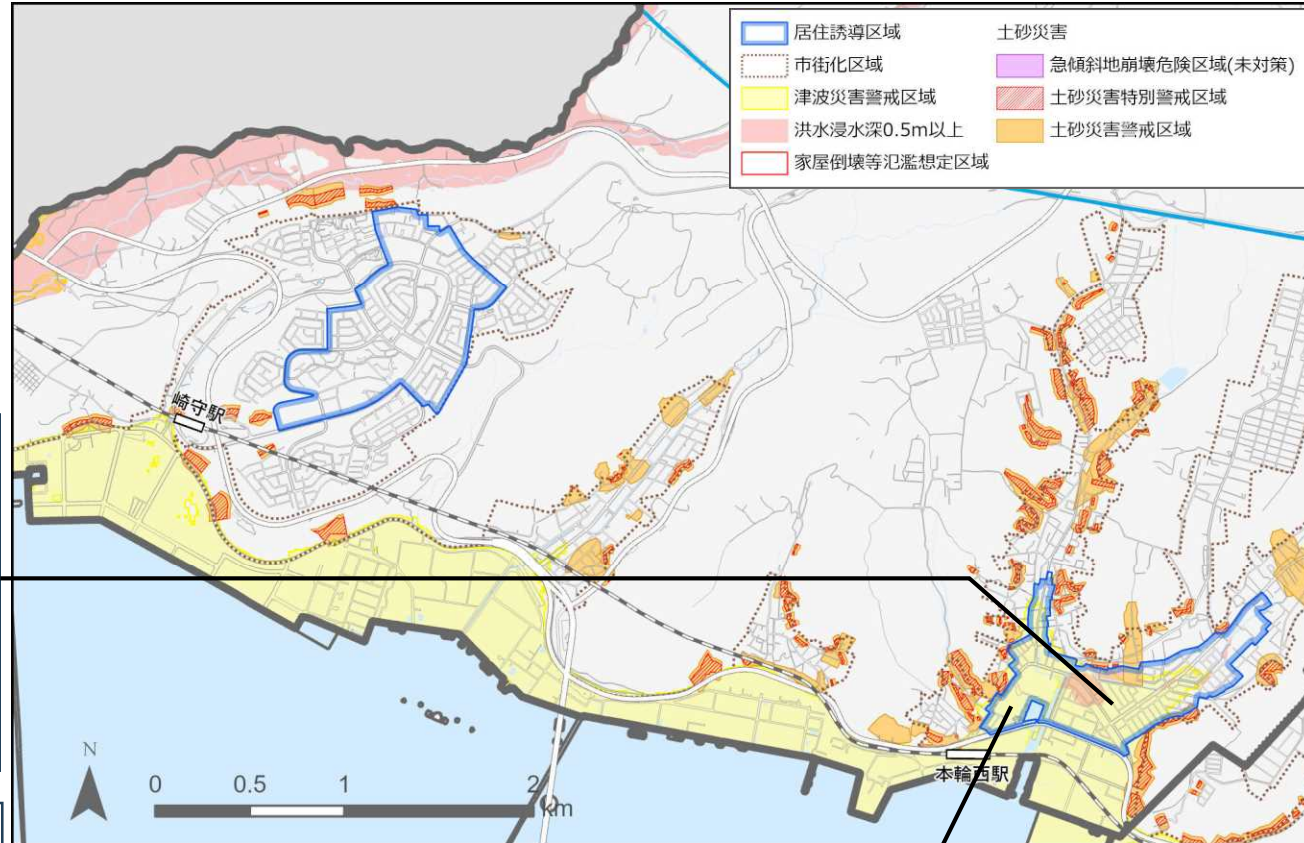
輪西町 津波 土砂

- 居住誘導区域に土砂災害警戒区域が存在
- 津波避難時の道路勾配が大きい
- 住民の防災意識向上
- 高齢者等の避難体制構築



4. 市全体および地域別の課題

(2) 地域別課題【蘭北】



港北町

洪水 津波 土砂

- ・ 洪水浸水深さ0.5m以上
- ・ 津波浸水深さ3m以上
- ・ 高齢者人口密度が高い
- ・ 居住誘導区域に土砂災害警戒区域が存在
- ・ 一部が津波時避難場所から徒歩圏外

- 治水対策
- 住民の防災意識向上
- 高齢者等の避難体制構築
- 避難施設の確保

本輪西町

津波 土砂

- ・ 居住誘導区域にレッドゾーンが存在
- ・ 居住誘導区域に土砂災害警戒区域が存在
- ・ 一部が津波時避難場所から徒歩圏外
- ・ 避難の際の道路勾配が大き

- 居住誘導区域の見直し
- 防災意識の向上
- 避難施設の確保

目次

1. 立地適正化計画 防災指針の役割
2. ハザード情報の整理
3. 災害による危険性の高い地域の分析
4. 市全体および地域別の課題
- 5. 防災まちづくりの基本的な方針（案）**
6. 市全体および地域別の防災方針と取組（案）
7. 防災まちづくりの目標値（案）

5. 防災まちづくりの基本的な方針（案）

- ハザード情報の整理結果、災害リスク分析の結果を踏まえ、居住誘導区域における防災まちづくりの基本的な方針を以下のとおり設定する。

基本方針：災害特性に応じたまちなか居住環境の形成

都市機能を備え、交通環境の整った利便性の高い居住性と、災害に負けない安全性を両立するよう、ハード・ソフトの両面から対策を講じ、強く住みよいまちを目指します。

【参考】

第6次室蘭市総合計画

将来像
室蘭が好き。みんなで創る、住み続けたいまち
～まち・ひと・みなと つながりが未来を創る～

安全安心で環境にやさしいまちづくり 目標14

災害に強く、安全に暮らせるまち

室蘭市都市計画マスタープラン

基本理念
魅力的な自然・産業・人を生かした、コンパクト・プラス・ネットワークによる持続可能なまちづくり

安全・安心の視点 目標7

災害に強いまちをつくろう

室蘭市強靱化計画

テーマ
安全安心で環境にやさしい持続可能なまちづくり

目標1 大規模自然災害から市民の生命・財産と室蘭市の社会経済システム

目標2 室蘭市の強みを活かし、北海道・西胆振の強靱化に貢献する

目標3 室蘭市の持続的成長を促進する

5. 防災まちづくりの基本的な方針（案）

- 前述の基本方針に従い、居住誘導区域内における防災まちづくりの目標を以下のとおり設定する（地域別課題と重複あり）。

基本方針：災害特性に応じたまちなか居住環境の形成

目標1：利便性と安全性を両立するまちなかを創出

都市機能の誘導により利便性の高い居住環境を整備するとともに、施設の利用者や従業員の安全性確保、業務継続性の強化など利便性と安全性の両立を目指します。

目標2：市民一人一人の防災力の強化

災害から身を守るためには、災害や防災に関する正しい知識を持ち、自らが考えて迅速に行動することが重要です。市民が災害や防災に対して考える機会を創出し、地域防災力の強化を図ります。

目標3：人命を守るための地域特性に応じた避難体制の確保

本市では防災・減災対策を進めていますが、激甚化する災害の全てを完全に防ぐことはできません。津波などの大規模災害時には人命の確保を第一優先として、迅速に避難できる体制の確保を図ります。

目標4：国や北海道と連携した防災・減災対策の推進

現在実施している河川改修などのハード対策は、国や北海道と協力して引き続き対策の推進を図ります。また、今後更なる対策が必要となった場合は整備を要望していきます。

目次

1. 立地適正化計画 防災指針の役割
2. ハザード情報の整理
3. 災害による危険性の高い地域の分析
4. 市全体および地域別の課題
5. 防災まちづくりの基本的な方針（案）
- 6. 市全体および地域別の防災方針と取組（案）**
7. 防災まちづくりの目標値（案）

6. 市全体および地域別の防災方針と取組（案）

(1) 市全体の防災方針と取組（案）

	市全体
全災害共通	<ul style="list-style-type: none">□ 避難体制の確保<ul style="list-style-type: none">・ハザードマップによる啓発・定期的な防災訓練の実施□ 情報伝達の強化<ul style="list-style-type: none">・伝達方法の多様化□ 要配慮者利用施設における避難体制の確保<ul style="list-style-type: none">・避難確保計画の作成と着実な運用に向けた啓発や訓練□ 防災教育の推進<ul style="list-style-type: none">・学校での避難訓練・防災教育啓発資料の配布・体験型の防災教育の実施・イベント時の防災観点の取り入れ
津波災害	<ul style="list-style-type: none">□ 建築物等の強靱化対策<ul style="list-style-type: none">・市の施設の適切な点検と更新□ 避難場所等の指定・整備<ul style="list-style-type: none">・避難スペースの確保、避難所の適正化に向けた地域との調整



6. 市全体および地域別の防災方針と取組（案）

(2)地域別の防災方針と取組（案）

		地域別
蘭西地域	全体	<input type="checkbox"/> 居住誘導区域の見直し <ul style="list-style-type: none"> ・ 居住誘導区域内から土砂災害特別警戒区域および急傾斜地崩壊危険区域の除外 ・ 誘導施策の推進による居住誘導 （避難体制の確保や情報伝達の強化等 全体の対策と同じ）
	祝津町	<input type="checkbox"/> 避難行動要支援者の避難体制の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ 共助による見守り体制の構築 <input type="checkbox"/> 避難施設の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ 津波避難ビルの指定
	幸町 入江町	<input type="checkbox"/> 耐災性・業務継続性の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ 誘導施設における防災体制・設備の整備 ・ 災害発生後の業務継続体制の構築
	海岸町	<input type="checkbox"/> 避難行動要支援者の避難体制の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ 共助による見守り体制の構築 <input type="checkbox"/> 耐災性・業務継続性の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ 誘導施設における防災体制・設備の整備 ・ 災害発生後の業務継続体制の構築
	栄町 舟見町	<input type="checkbox"/> 避難施設の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ 津波避難ビルの指定
	中央町	<input type="checkbox"/> 避難行動要支援者の避難体制の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ 共助による見守り体制の構築

6. 市全体および地域別の防災方針と取組（案）

(2)地域別の防災方針と取組（案）

		地域別
蘭東 地域	天神町	<ul style="list-style-type: none"> □ 町内会単位等での防災意識の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 出前講座等を活用した地域防災活動等の啓発
	水元町	<ul style="list-style-type: none"> □ 町内会単位等での防災意識の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 出前講座等を活用した地域防災活動等の啓発 □ 道と連携した治水対策の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画的な河川改修および適切な維持管理
	知利別町	<ul style="list-style-type: none"> □ 町内会単位等での防災意識の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 出前講座等を活用した地域防災活動等の啓発 □ 道と連携した治水対策の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画的な河川改修および適切な維持管理 □ 避難行動要支援者の避難体制の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ 共助による見守り体制の構築 □ 危険区域の周知・徹底 <ul style="list-style-type: none"> ・ 町内会等を通じた危険区域の周知 ・ 町内会単位での避難訓練の実施

6. 市全体および地域別の防災方針と取組（案）

(2)地域別の防災方針と取組（案）

		地域別
蘭東 地域	高砂町	<ul style="list-style-type: none"> □ 町内会単位等での防災意識の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 出前講座等を活用した地域防災活動等の啓発 □ 道と連携した治水対策の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画的な河川改修および適切な維持管理 □ 避難行動要支援者の避難体制の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ 共助による見守り体制の構築
	中島町 中島本町	<ul style="list-style-type: none"> □ 町内会単位等での防災意識の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 出前講座等を活用した地域防災活動等の啓発 □ 道と連携した治水対策の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画的な河川改修および適切な維持管理 □ 避難施設の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ 津波避難ビルの指定 □ 避難行動要支援者の避難体制の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ 共助による見守り体制の構築 □ 避難体制の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な高台等の把握のため町内会単位での避難訓練等を実施 □ 耐災性・業務継続性の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ 誘導施設における防災体制・設備の整備 ・ 災害発生後の業務継続体制の構築

6. 市全体および地域別の防災方針と取組（案）

(2)地域別の防災方針と取組（案）

		地域別
蘭東 地域	東町	<p>□ 町内会単位等での防災意識の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出前講座等を活用した地域防災活動等の啓発 <p>□ 地域コミュニティの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町内会への加入促進や、学校と地域との連携等の地域ぐるみで進める防災・減災の取組推進 (避難体制の確保や情報伝達の強化等 全体の対策と同じ) <p>□ 耐災性・業務継続性の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 誘導施設における防災設備の整備 ・ 災害発生後の業務継続体制の構築
	寿町	<p>□ 町内会単位等での防災意識の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出前講座等を活用した地域防災活動等の啓発 <p>□ 耐災性・業務継続性の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 誘導施設における防災体制・設備の整備 ・ 災害発生後の業務継続体制の構築
	日の出町	<p>□ 町内会単位等での防災意識の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出前講座等を活用した地域防災活動等の啓発
	輪西町	<p>□ 避難行動要支援者の避難体制の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共助による見守り体制の構築 (避難体制の確保や情報伝達の強化等 全体の対策と同じ)

6. 市全体および地域別の防災方針と取組（案）

(2)地域別の防災方針と取組（案）

		地域別
蘭北 地域	港北町	<ul style="list-style-type: none"> □ 町内会単位等での防災意識の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 出前講座等を活用した地域防災活動等の啓発 □ 道と連携した治水対策の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画的な河川改修および適切な維持管理 □ 避難行動要支援者の避難体制の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ 共助による見守り体制の構築 □ 避難施設の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ 津波避難ビルの指定 （避難体制の確保や情報伝達の強化等 全体の対策と同じ）
	本輪西町	<ul style="list-style-type: none"> □ 居住誘導区域の見直し <ul style="list-style-type: none"> ・ 居住誘導区域内から土砂災害特別警戒区域および急傾斜地崩壊危険区域の除外 ・ 誘導施策の推進による居住誘導 □ 町内会単位等での防災意識の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 出前講座等を活用した地域防災活動等の啓発 □ 避難施設の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ 津波避難ビルの指定 （避難体制の確保や情報伝達の強化等 全体の対策と同じ）

目次

1. 立地適正化計画 防災指針の役割
2. ハザード情報の整理
3. 災害による危険性の高い地域の分析
4. 市全体および地域別の課題
5. 防災まちづくりの基本的な方針（案）
6. 市全体および地域別の防災方針と取組（案）
7. 防災まちづくりの目標値（案）

7. 防災まちづくりの目標値（案）

- 防災指針に示す取組を実施し、防災まちづくりの達成状況を評価するため目標値を設定する。目標値は下記案を参考に今後検討する。
- 現行の室蘭市立地適正化計画に示した目標値（モニタリング指標）とともに、防災に関する目標値も定期的にモニタリングを行う。

分類	項目（案）	備考	
施設耐災性強化	✓ 公共建築物の定期的な点検の実施回数	「室蘭市強靱化計画」のモニタリング項目のため、数値を防災対策課で把握している可能性がある	
防災力の強化	✓ 防災訓練・研修の支援回数		
	✓ 自主防災組織設置率		
	✓ 出前講座および防災セミナー開催数		防災対策課で数値把握が可能
	✓ 防災教育の実施学校数		自主的に実施している場合には聞き取りが必要
情報共有の強化	✓ 情報伝達訓練の実施回数	「室蘭市強靱化計画」のモニタリング項目のため、数値を防災対策課で把握している可能性がある	
	✓ 災害時の避難所情報の活用方法等の周知回数		
避難体制の強化	✓ 地域で開設・運営する避難所の確保地区数	防災対策課で数値把握が可能	
	✓ 避難行動要支援者 個別計画の作成率		
	✓ 避難確保計画策定件数		
	✓ 福祉避難所の指定数		
避難行動の強化	✓ 避難訓練の実施回数	「室蘭市強靱化計画」のモニタリング項目のため、数値を防災対策課で把握している可能性がある	
	✓ 津波避難訓練の実施回数		
	✓ 避難確保計画に基づく避難訓練実施件数	防災対策課で数値把握が可能	